

(様式第 10)

愛大医総第 279 号
令和 3 年 10 月 1 日

厚生労働大臣 田村 憲久 殿

国立大学法人愛媛大学
学長 仁科 弘重

愛媛大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和 2 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒790-8577 松山市道後樋又10番13号
氏 名	国立大学法人愛媛大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

愛媛大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒791-0295 東温市志津川454 電話(089)964-1111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
② 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無	
内科と組み合わせた診療科名等			
①呼吸器内科	②消化器内科	③循環器内科	④腎臓内科
⑤神経内科	⑥血液内科	⑦内分泌内科	⑧代謝内科
⑨感染症内科	⑩アレルギー疾患内科またはアレルギー科	⑪リウマチ科	
診療実績			

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 (1)呼吸器外科 (2)消化器外科 (3)乳腺外科 (4)心臓外科 (5)血管外科 (6)心臓血管外科 (7)内分泌外科 (8)小児外科	
診療実績	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

(1)精神科 (2)小児科 (3)整形外科 (4)脳神経外科 (5)皮膚科 (6)泌尿器科 (7)産婦人科 8産科 9婦人科 (10)眼科 (11)耳鼻咽喉科 12放射線科 (13)放射線診断科 (14)放射線治療科 (15)麻酔科 (16)救急科

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1小児歯科 (2)矯正歯科 (3)口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 膠原病・リウマチ内科 2 高血圧内科 3 アレルギー内科 4 糖尿病内科 5 老年内科 6 薬物療法内科 7 総合診療科 8 消化器腫瘍外科 9 食道・胃・大腸外科 10 内視鏡外科 11 肝胆膵・移植外科 12 乳腺・内分泌外科 13 形成外科 14 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 15 病理診断科 16 リハビリテーション科 17 臨床検査科
--

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	2床	1床	1床	602床	644床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	236人	213人	396.6人	看護補助者	56人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	8人	10人	15人	理学療法士	12人	臨床検査技師	49人
薬 剤 師	44人	0人	44人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	7人	その他	0人
助 産 師	14人	0人	14人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	702人	24人	719.3人	臨床工学士	18人	医療社会事業従事者	12人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	14人
歯科衛生士	5人	0人	5人	歯科技工士	2人	事務職員	146人
管理栄養士	10人	2人	11.5人	診療放射線技師	35人	その他の職員	11人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含まないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	52人	眼科専門医	14人
外科専門医	43人	耳鼻咽喉科専門医	15人
精神科専門医	7人	放射線科専門医	18人
小児科専門医	27人	脳神経外科専門医	10人
皮膚科専門医	7人	整形外科専門医	16人
泌尿器科専門医	10人	麻酔科専門医	20人
産婦人科専門医	12人	救急科専門医	9人
		合 計	260人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (杉山 隆) 任命年月日 令和3年4月1日

平成27年4月1日に産婦人科の教授に就任後、診療科長として医療安全管理委員会の委員となり、令和3年4月1日に病院長に就任し、病院長に就任後は医療安全管理委員会の委員長を務めている。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	469.8人	14.7人	484.5人
1日当たり平均外来患者数	1,172.1人	60.4人	1,232.5人
1日当たり平均調剤数	848.5剤		
必要医師数	117.3人		
必要歯科医師数	4.86人		
必要薬剤師数	17人		
必要(准)看護師数	285人		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備	概要		
集中治療室	431m ²	鉄筋コンクリート	病床数	22床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 294 m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	15床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 20 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	302 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	全自動蛍光抗体法分析装置 全自動化学発光免疫測定装置		
細菌検査室	266 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	微生物感受性分析装置 リアルタイム濁度測定装置		
病理検査室	175 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	液状化検体細胞診標本作製装置 IHC/ISH自動染色措置		
病理解剖室	399 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	剖検台、局所廃棄装置		
研究室	314 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	パソコン、プリンター、顕微鏡		
講義室	734 m ²	鉄筋コンクリート	室数	18室	収容定員	660人
図書室	99 m ²	鉄筋コンクリート	室数	1室	蔵書数	1,456冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

	紹介率	99.9%	逆紹介率	60.8%
算出根拠	A: 紹介患者の数		人	12,174
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		人	7,789
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			622人
	D: 初診の患者の数		人	12,805

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
菅 政治	愛媛県立中央病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ 無	1
大熊 伸定	弁護士法人松山中央弁護士事務所		法律に関する識見を有する者	有・ 無	1
河野 和博	愛媛県難病等患者団体連絡協議会／愛媛県腎臓病患者連絡協議会		医療を受ける者	有・ 無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有 ・無
委員の選定理由の公表の有無	有 ・無
公表の方法 愛媛大学ホームページの情報公開のページ内に、「附属病院における医療安全管理について」という事項を設け、監査委員会規程及び委員会名簿（選定理由を含む）を公表している。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	37人
細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	0人
流産検体を用いた染色体検査	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)	0人
インターフェロン α 皮下投与及びジドブシン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	0人
S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。)	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当なし		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	4	56	ベーチェット病	69
2	筋萎縮性側索硬化症	14	57	特発性拡張型心筋症	32
3	脊髄性筋萎縮症	6	58	肥大型心筋症	23
4	原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	1
5	進行性核上性麻痺	6	60	再生不良性貧血	15
6	パーキンソン病	149	61	自己免疫性溶血性貧血	42
7	大脳皮質基底核変性症	5	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8	ハンチントン病	1	63	特発性血小板減少性紫斑病	33
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	2
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	65	原発性免疫不全症候群	7
11	重症筋無力症	78	66	IgA腎症	15
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	21
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	91	68	黄色靱帯骨化症	17
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	20	69	後縦靱帯骨化症	63
15	封入体筋炎	3	70	広範脊柱管狭窄症	4
16	クドウ・深瀬症候群	1	71	特発性大腿骨頭壊死症	79
17	多系統萎縮症	13	72	下垂体性ADH分泌異常症	16
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	39	73	下垂体性TSH分泌亢進症	2
19	ライソゾーム病	4	74	下垂体性PRL分泌亢進症	3
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	2
21	ミトコンドリア病	10	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	31	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	19
23	プリオン病	2	78	下垂体前葉機能低下症	25
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	2	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	2
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	39	83	アジソン病	1
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	48
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	71
31	ペスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	10
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	4
34	神経線維腫症	14	89	リンパ脈管筋腫症	4
35	天疱瘡	24	90	網膜色素変性症	23
36	表皮水疱症	1	91	バッド・キアリ症候群	3
37	膿疱性乾癬(汎発型)	3	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	54
39	中毒性表皮壊死症	1	94	原発性硬化性胆管炎	4
40	高安動脈炎	20	95	自己免疫性肝炎	0
41	巨細胞性動脈炎	8	96	クローン病	58
42	結節性多発動脈炎	12	97	潰瘍性大腸炎	110
43	顕微鏡的多発血管炎	54	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	30	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	32	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	2	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャー病	1	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	222	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	86	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	83	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	54	107	全身型若年性特発性関節炎	3
53	シェーグレン症候群	73	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	27	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	11	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	17
113	筋ジストロフィー	8	163	特発性後天性全身性無汗症	2
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	36	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	0
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	1
119	アイザックス症候群	1	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	6
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	1
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	3	177	有馬症候群	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重症型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重症型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	2
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	2
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	1	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	12	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	3	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	18	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	1	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	1	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	1
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	30	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	12	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎	8
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	3	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	1
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	1	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	5
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	2	283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	4	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	1
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	1	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	2
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	10
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	1
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	1
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	1
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	46

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β ーケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	5	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0
			331	特発性多中心性キャッスルマン病	5
			332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
			333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
地域歯科診療支援病院歯科初診料	ハイリスク分娩管理加算
歯科外来診療環境体制加算	後発医薬品使用体制加算1
歯科診療特別対応連携加算	病棟薬剤業務実施加算1
特定機能病院入院基本料 一般病棟 7対1	病棟薬剤業務実施加算2
特定機能病院入院基本料 精神病棟 13対1	データ提出加算2
救急医療管理加算	入退院支援加算1
超急性期脳卒中加算	入院時支援加算
診療録管理体制加算2	精神疾患診療体制加算
医師事務作業補助体制加算1(20対1)	特定集中治療室管理料4
急性期看護補助体制加算25対1(看護補助者5割以上)	特定集中治療室管理料4 小児加算
看護職員夜間配置加算(12対1(1))	特定集中治療室管理料4 早期離床・リハビリテーション加算
看護補助加算2	脳卒中ケアユニット入院医療管理料
療養環境加算	新生児特定集中治療室管理料1
重症者等療養環境特別加算	新生児治療回復室入院医療管理料
無菌治療室管理加算1	一類感染症患者入院医療管理料
無菌治療室管理加算2	小児入院医療管理料2
緩和ケア診療加算	小児入院医療管理料2 プレイルーム加算
精神科身体合併症管理加算	・
栄養サポートチーム加算	・
医療安全対策加算1	・
感染防止対策加算1	・
感染防止対策地域連携加算	・
抗菌薬適正使用支援加算	・
患者サポート体制充実加算	・
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
ハイリスク妊娠管理加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
外来栄養食事指導料の注2	在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
糖尿病合併症管理料	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)
がん性疼痛緩和指導管理料	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
がん患者指導管理料イ	遺伝学的検査
がん患者指導管理料ロ	骨髄微小残存病変量測定
がん患者指導管理料ハ	BRCA1/2遺伝子検査(腫瘍細胞を検体とするもの)
がん患者指導管理料ニ	BRCA1/2遺伝子検査(血液を検体とするもの)
外来緩和ケア管理料	がんゲノムプロファイリング検査
移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	角膜ジストロフィー遺伝子検査
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	先天性代謝異常症検査
糖尿病透析予防指導管理料	抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
小児運動器疾患指導管理料	HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
婦人科特定疾患治療管理料	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
ニコチン依存症管理料	検体検査管理加算(Ⅰ)
療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算	検体検査管理加算(Ⅳ)
がん治療連携計画策定料	国際標準検査管理加算
肝炎インターフェロン治療計画料	遺伝カウンセリング加算
ハイリスク妊産婦連携指導料1	遺伝性腫瘍カウンセリング加算
薬剤管理指導料	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
医療機器安全管理料1	胎児心エコー法
医療機器安全管理料2	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	ヘッドアップティルト試験
医療機器安全管理料(歯科)	長期継続頭蓋内脳波検査
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	神経学的検査
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算	補聴器適合検査

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
全視野精密網膜電図	呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ) 初期加算
ロービジョン検査判断料	がん患者リハビリテーション料
コンタクトレンズ検査料1	リンパ浮腫複合的治療料
小児食物アレルギー負荷検査	歯科口腔リハビリテーション料2
内服・点滴誘発試験	精神科作業療法
CT透視下気管支鏡検査加算	認知療法・認知行動療法1
画像診断管理加算3	抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
遠隔画像診断	医療保護入院等診療料
ポジトロン断層撮影及びポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影	硬膜外自家血注入
CT撮影及びMRI撮影	エタノールの局所注入(甲状腺)
冠動脈CT撮影加算	エタノールの局所注入(副甲状腺)
心臓MRI撮影加算	導入期加算1(人工腎臓)
乳房MRI撮影加算	人工膵臓療法
頭部MRI撮影加算	歩行運動処置(ロボットスーツによるもの)
全身MRI撮影加算	加圧根管充填処置3根管以上に係る手術用顕微鏡加算
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	CAD/CAM冠
外来化学療法加算1	歯科技工加算
連携充実加算	皮膚悪性腫瘍切除術におけるセンチネルリンパ節加算
無菌製剤処理料	組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合)
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ) 初期加算	骨移植術(軟骨移植術を含む)(自家培養軟骨移植術に限る)
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ) 初期加算	椎間板内酵素注入療法
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算
運動器リハビリテーション料(Ⅰ) 初期加算	頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)及び脳刺激装置交換術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
角膜移植術(内皮移植加算)	肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの))
羊膜移植術	食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	
緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	
網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	内視鏡下筋層切開術
網膜再建術	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
人工中耳植込術	胸腔鏡下弁形成術
人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術及び人工内耳用材料	経カテーテル大動脈弁置換術
内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	胸腔鏡下弁置換術
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	経皮的中隔心筋焼灼術
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)	両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下ハセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(その他のもの)
乳がんセンチネルリンパ節加算1	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
乳がんセンチネルリンパ節加算2	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)(小児を対象とする場合)	生体腎移植術
補助人工心臓	膀胱水圧拡張術
小児補助人工心臓	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
植込型補助人工心臓(非拍動流型)	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
経皮的下肢動脈形成術	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
内視鏡下下肢静脈瘤不全穿通枝切離術	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)	腹腔鏡下仙骨腫固定術
腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)
腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	胎児胸腔・羊水腔シャント術
胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	胎児輸血術
バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
腹腔鏡下肝切除術	輸血管管理料 I
生体部分肝移植術	コーディネート体制充実加算
同種死体肝移植術	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
腹腔鏡下腭腫瘍摘出術	歯根端切除手術(1歯につき)(歯科用3次元エックス線断層撮影装置及び手術用顕微鏡を用いた場合)
腹腔鏡下腭体尾部腫瘍切除術	歯周組織再生誘導手術
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	麻酔管理料(I)
腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	麻酔管理料(II)
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	放射線治療専任加算
腹腔鏡下腎盂形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	外来放射線治療加算
同種死体腎移植術	高エネルギー放射線治療

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・マルチプレックス遺伝子パネル検査	・
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	・
・腹腔鏡下広汎子宮全摘術	・
・前眼部三次元画像解析	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	48回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 16例 / 剖検率 11%

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補助元	委託元
新規リピートリン酸糖鎖の修飾機序の解明と生理活性の治療応用	金川 基	医学系研究科	5,460,000	補○ 委	日本学術振興会
一酸化窒素系を介した精神障害の発症機序を遺伝学的に解析する集団ベース研究	上野 修一	医学系研究科	4,030,000	補○ 委	日本学術振興会
新規患者組織移植モデルを用いた全般的疾患モデル構築による腫瘍幹細胞純化と創薬支援	竹中 克斗	医学系研究科	5,460,000	補○ 委	日本学術振興会
スポロゾイトの分泌タンパク質輸送メカニズムにおけるRAMAの作用機序の解明	石野 智子	プロテオサイエンスセンター	5,850,000	補○ 委	日本学術振興会
大動脈弁石灰化における骨芽細胞分化マスターレギュレーターの同定と機能阻害剤の開発	泉谷 裕則	医学系研究科	4,940,000	補○ 委	日本学術振興会
加齢によるサルコペニア疾患病態理解のためのエピゲノム制御機構解明	今井 祐記	プロテオサイエンスセンター	5,850,000	補○ 委	日本学術振興会
睡眠教育プログラムの教育現場における実証研究	岡 靖哲	医学部附属病院	7,150,000	補○ 委	日本学術振興会
エピジェネティクス変化と包括的転写ネットワーク解析による骨疾患の病態解明	北澤 荘平	医学系研究科	4,940,000	補○ 委	日本学術振興会
グルタミンによるT細胞シグナル伝達と分化の統合的制御機構の解明	山下 政克	医学系研究科	7,800,000	補○ 委	日本学術振興会
自己炎症疾患の発作の周期性や炎症の多様性を規定する責任分子調節分子群の包括的同定	増本 純也	プロテオサイエンスセンター	6,630,000	補○ 委	日本学術振興会

小計10件

遺伝子異常に基づいた口腔扁平上皮癌制御戦略	中城 公一	医学系研究科	9,490,000	補 委	日本学術振興会
分子夾雑環境におけるプロテオフォーム動態のトップダウンプロテオミクス解析	武森 信暁	学術支援センター	2,470,000	補 委	日本学術振興会
代謝ーエピゲノムのクロストークによる慢性アレルギー炎症細胞社会の形成	山下 政克	医学系研究科	3,770,000	補 委	日本学術振興会
脊椎動物の全胚全細胞ライプ追跡と再構成による骨格形成多様性の解明	齋藤 卓	医学系研究科	3,120,000	補 委	日本学術振興会
自閉スペクトラム症児における動的家族画・動的学校画特徴の検討	芳野 歩美	医学部附属病院	450,000	補 委	日本学術振興会
NLRP3インフラマソームの新規制御機構の解明	金子 直恵	医学系研究科	480,000	補 委	日本学術振興会
表皮幹細胞オルガノイドの長期培養への試み	津田 照子	医学系研究科	480,000	補 委	日本学術振興会
エンドソーム局在型ユビキチンE3リガーゼによる血管新生制御の分子機構	前川 大志	プロテオサイエンスセンター	1,300,000	補 委	日本学術振興会
疾患特異的タンパク質の分解誘導システムの開発・応用	東山 繁樹	プロテオサイエンスセンター	2,600,000	補 委	日本学術振興会
関節組織再生における関節リウマチ治療薬の薬理効果プロファイリング	劉 爽	医学系研究科	1,170,000	補 委	日本学術振興会
成長板を発生起点とする骨髄造血ニッチ形成メカニズムの解析	原口 竜摩	医学系研究科	1,170,000	補 委	日本学術振興会
滑膜細胞のエピゲノム調節による炎症性サイトカイン発現制御機構の解明	佐伯 法学	学術支援センター	2,340,000	補 委	日本学術振興会

小計12件

エストロゲン欠乏による骨折治癒遷延の分子メカニズム解明と治癒促進法の開発	池戸 葵	プロテオサイエンスセンター	2,340,000	補 委	日本学術振興会
統合的解析を駆使したアンドロゲンによる骨格筋制御メカニズムの解明	酒井 大史	プロテオサイエンスセンター	2,210,000	補 委	日本学術振興会
Toll様受容体を標的とした制御性B細胞誘導による多発性硬化症の新規治療法の開発	越智 博文	医学系研究科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
Bach2-IL-7経路によるTpath2分化とアレルギー性気道炎症制御の解明	桑原 誠	医学系研究科	910,000	補 委	日本学術振興会
真珠腫の術中蛍光診断の開発に課する研究	阿部 康範	医学部附属病院	910,000	補 委	日本学術振興会
慢性内耳虚血の病態解明および治療法開発	岡田 昌浩	医学部附属病院	2,470,000	補 委	日本学術振興会
口腔扁平上皮癌における転移関連 microRNA の探索	徳善 紀彦	医学部附属病院	1,820,000	補 委	日本学術振興会
前立腺癌におけるCUL3型ユビキチンリガーゼによるPSMAの蛋白発現制御機構解析	三浦 徳宣	医学部附属病院	1,560,000	補 委	日本学術振興会
前立腺癌の骨転移分子メカニズム解明に基づく革新的治療/予防法の探索	雑賀 隆史	医学系研究科	1,430,000	補 委	日本学術振興会
皮膚常在菌及びHMGB1A-BOXによる難治性皮膚潰瘍に対する新規治療法の開発	森 秀樹	医学系研究科	1,430,000	補 委	日本学術振興会
老年期うつ病とアルツハイマー型認知症の鑑別を目指した血液バイオマーカー研究	伊賀 淳一	医学系研究科	1,820,000	補 委	日本学術振興会
TREM2遺伝子のエピジェネティクス変化による精神神経疾患のバイオマーカー同定	尾崎 優樹	医学系研究科	2,080,000	補 委	日本学術振興会

小計12件

ラマン分光法によるがん転移モデルの動態解析と診断・治療への応用	古賀 繁宏	医学部附属病院	520,000	補 委	日本学術振興会
無染色イメージング技術を基盤とする軟骨変性疾患の病態解析と臨床応用展開	清松 悠	医学部附属病院	1,690,000	補 委	日本学術振興会
新たな抗体改変技術を利用したがんに対する革新的免疫療法の開発研究	越智 俊元	医学系研究科	1,560,000	補 委	日本学術振興会
血小板減少症/血栓性素因におけるG蛋白質共役型受容体GPR25の関与と機能の検討	羽藤 高明	医学部附属病院	1,430,000	補 委	日本学術振興会
肝がん治療支援システムの開発と遠隔診療体制の確立	廣岡 昌史	医学部附属病院	780,000	補 委	日本学術振興会
脂肪性肝疾患の肝線維化におけるB細胞活性化因子の役割	阿部 雅則	医学系研究科	1,170,000	補 委	日本学術振興会
慢性肝障害および肝発癌、進展におけるERストレス、PERKの役割	日浅 陽一	医学系研究科	1,430,000	補 委	日本学術振興会
しびれ評価のためのアセスメントツール開発に向けた基礎的研究	赤松 公子	医学系研究科	780,000	補 委	日本学術振興会
ユビキチンE3リガーゼ複合体を標的とした乳児血管腫の新規治療薬の探索	手束 真理	医学部附属病院	1,300,000	補 委	日本学術振興会
角膜実質再生を目指した骨髄線維芽細胞移植のバイオイメージング解析	林 康人	医学部	910,000	補 委	日本学術振興会
軽度外傷性脳損傷におけるインフラマソームを介した自然炎症の関与	朱 鵬翔	医学系研究科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
二分脊椎運動障害の内科的治療法の確立ープロサポシン由来ペプチドの臨床応用ー	カーン モハメド シャキル	医学系研究科	1,300,000	補 委	日本学術振興会

小計12件

二分脊椎異常回路の二光子顕微鏡による立体的解析	松田 正司	医学系研究科	1,560,000	補 委	日本学術振興会
頭頸部扁平上皮がんのリンパ節転移に対する集学的抗転移治療の開発	矢野 元	医学系研究科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
革新的受容体合成技術を利用した新規核酸医薬品(アナフィラキシー予防薬)の開発	鈴木 康之	医学部	1,300,000	補 委	日本学術振興会
老人性骨粗鬆症の病態解析:加齢モデルにおける破骨細胞分化因子発現制御	北澤 理子	医学部附属病院	1,170,000	補 委	日本学術振興会
マクロファージが産生するEmilin2の骨代謝における機能解明と臨床応用の可能性	小原 幸弘	医学系研究科	1,560,000	補 委	日本学術振興会
Identifying malaria vaccine candidate antigens using genetic linkage analyses	カレトン リチャード	プロテオサイエンスセンター	1,300,000	補 委	日本学術振興会
マラリア原虫スポロゾイトの哺乳類への伝搬におけるRON4の作用機序の解明	馬場 みなみ	プロテオサイエンスセンター	1,950,000	補 委	日本学術振興会
地域医療実習での地域診断手法の導入による地域志向性の滋養に関する研究	川本 龍一	医学系研究科	650,000	補 委	日本学術振興会
MCIscreenおよびSAFを用いた軽度認知障害早期診断の有用性の検討	伊賀瀬 道也	医学系研究科	1,560,000	補 委	日本学術振興会
血管超音波を用いた神経疾患の血管内皮機能に関する解析	岡田 陽子	医学部附属病院	1,430,000	補 委	日本学術振興会
慢性皮膚炎症に伴う細胞老化における代謝とエピゲノム変化の役割	大森 深雪	医学系研究科	1,430,000	補 委	日本学術振興会
Rabによるオートファジーを介したアレルギー性気道炎症の慢性化機序の解明	鈴木 淳平	医学系研究科	1,560,000	補 委	日本学術振興会

小計12件

老化T細胞除去による抗腫瘍活性増強法の開発	松岡 祐子	医学部附属病院	1,430,000	補○ 委	日本学術振興会
妊娠高血圧症候群の病態形成に対するトロホブラスト由来exosomeの関与	松原 圭一	医学系研究科	1,430,000	補○ 委	日本学術振興会
臓器間ネットワークの視点よりみた妊娠時インスリン抵抗性の病態生理学的検討	杉山 隆	医学系研究科	1,430,000	補○ 委	日本学術振興会
肺癌早期診断を目指した高危険度因子の同定および進行肺癌化学療法適応基準の提唱	熊木 天児	医学部附属病院	1,040,000	補○ 委	日本学術振興会
培養脂腺細胞の分泌膜小胞セボゾームの生成と周辺細胞への脂質供給機構	永井 彩子	医学部附属病院	1,300,000	補○ 委	日本学術振興会
顔面神経麻痺モデルにおけるIGF-1鼓室内投与の検討	木村 拓也	医学部附属病院	2,990,000	補○ 委	日本学術振興会
頭頸部扁平上皮癌浸潤・転移におけるNHE1に関する検討	木谷 卓史	医学部附属病院	2,080,000	補○ 委	日本学術振興会
サルコペニア嚙下障害のメカニズム解明と筋萎縮予防薬の有効性の検討	勢井 洋史	医学部附属病院	650,000	補○ 委	日本学術振興会
PRP-hydrogelを用いた虚血性難聴に対する新たな治療法の開発	高木 太郎	医学部附属病院	1,430,000	補○ 委	日本学術振興会
三次元培養皮膚におけるエクリン汗腺の再現	亀田 健治	学術支援センター	1,170,000	補○ 委	日本学術振興会
散発性アルツハイマー病解明に向けた脳におけるアポE含有リポタンパク代謝経路の解析	藤野 貴広	学術支援センター	910,000	補○ 委	日本学術振興会
構造プロテオミクスのための高効率ゲル内タンパク質回収法の開発	武森 信暁	学術支援センター	1,560,000	補○ 委	日本学術振興会

小計12件

心筋虚血評価に最適な低侵襲心筋CT perfusion検査の開発と臨床応用	田邊 裕貴	医学部附属病院	390,000	補 委	日本学術振興会
3D遅延造影MRIにおけるCompressed Sensingの有用性検討	中村 壮志	医学部附属病院	780,000	補 委	日本学術振興会
リンパ節転移診断遺伝子アルゴリズムの構築による口腔癌リンパ節転移予測の確立	合田 啓之	医学部附属病院	1,690,000	補 委	日本学術振興会
ヒト臨床検体を用いた大動脈弁狭窄症の分子機序・血中病態予測マーカーの探索	青野 潤	医学部附属病院	910,000	補 委	日本学術振興会
睡眠障害を来した心不全におけるメラトニン誘導性オートファジーの機能解明	高橋 佳世	医学部附属病院	1,950,000	補 委	日本学術振興会
大動脈弁狭窄症における石灰化関連因子の機能解析	濱口 美香	医学部附属病院	1,170,000	補 委	日本学術振興会
費用対効果分析による本邦の心房細動治療の検証と至適治療戦略の構築	川上 大志	医学部附属病院	1,430,000	補 委	日本学術振興会
骨格筋内AMP活性化酵素は敗血症予後と関連するか	菊池 聡	医学系研究科	1,430,000	補 委	日本学術振興会
敗血症における免疫不全の原因は制御性B細胞か?: PD-L1発現との関連	松本 紘典	医学系研究科	1,430,000	補 委	日本学術振興会
2型糖尿病原因遺伝子レジスチンを標的とした遺伝子環境因子相互作用メカニズムの解明	川村 良一	医学系研究科	1,430,000	補 委	日本学術振興会
新規CUL3複合体による血管新生ブレーキ解除機構の解明	坂上 倫久	医学系研究科	1,690,000	補 委	日本学術振興会
ユビキチンリガーゼを標的とした肺虚血再灌流障害制御法の開発と臨床応用	杉本 龍士郎	医学部附属病院	1,560,000	補 委	日本学術振興会

小計12件

前立腺癌原因遺伝子 ETV1のタンパク質分解機構解析と前立腺癌治療への応用	渡辺 隆太	医学部附属病院	1,040,000	補 委	日本学術振興会
生体イメージングと数理を融合した表現型解析に基づく遺伝疾患解明へのアプローチ	齋藤 卓	医学系研究科	1,170,000	補 委	日本学術振興会
乾癬の炎症におけるグリコサミノグリカンの役割の解明と新規治療法の開発	武藤 潤	医学部附属病院	1,430,000	補 委	日本学術振興会
ユビキチンE3複合体を標的とした血管奇形の新規治療戦略の創出	中岡 啓喜	医学部附属病院	1,430,000	補 委	日本学術振興会
創傷治癒におけるヒアルロン酸の役割の解明	難波 千佳	医学部附属病院	1,170,000	補 委	日本学術振興会
悪性黒色腫のAutophagyにおけるHMGB1の役割の解析	松本 麻由	医学部附属病院	1,690,000	補 委	日本学術振興会
妊娠期の抗精神病薬暴露が出生後の仔マウスへ与える影響	吉野 祐太	医学部附属病院	2,600,000	補 委	日本学術振興会
大腸がん特異的タンパク質代謝マーカーの探索・同定と臨床応用	渡部 祐司	医学系研究科	1,430,000	補 委	日本学術振興会
GPR25遺伝子による血小板減少性血栓性素因を呈する疾患病態の解明	山之内 純	医学部附属病院	1,430,000	補 委	日本学術振興会
我が国における重症熱性血小板減少症候群の臨床的特徴と病態の解析	末盛 浩一郎	医学部附属病院	1,560,000	補 委	日本学術振興会
一酸化炭素中毒後遅発性脳症に対する神経栄養因子の投与による治療効果の検討	西原 佑	医学部附属病院	1,430,000	補 委	日本学術振興会
コレステロール摂取が非アルコール性脂肪肝の進展と発癌に及ぼす影響とその機序の解明	三宅 映己	医学部附属病院	1,300,000	補 委	日本学術振興会

小計12件

非アルコール性脂肪性肝疾患を背景とする肝発癌におけるB細胞活性化因子の役割	中村 由子	医学部附属病院	1,950,000	補 委	日本学術振興会
喉頭全摘術を受けるがん患者とパートナーの首尾一貫感覚を高める看護実践モデルの開発	山内 栄子	医学系研究科	780,000	補 委	日本学術振興会
高齢者の潜在する排泄機能に気づく経験を活用した看護・介護職教育プログラムの開発	陶山 啓子	医学系研究科	1,170,000	補 委	日本学術振興会
皮膚バリア機能と皮膚知覚との関係から考える効果的なスキンケアの検討	佐伯 由香	医学系研究科	260,000	補 委	日本学術振興会
フラッシュグルコースモニタリングシステムを活用した小児糖尿病患者への自己管理支援	薬師神 裕子	医学系研究科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
小児1型糖尿病患者と家族の成人型医療への円滑な移行を促進するガイドラインの開発	野本 美佳	医学系研究科	780,000	補 委	日本学術振興会
小児白血病の発症プロセスに基づく発症・再発予防法開発への基礎研究	江口 真理子	医学系研究科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
眼表面摩擦係数測定機の開発と眼表面疾患診断における有用性の検討	坂根 由梨	医学部	910,000	補 委	日本学術振興会
膠芽腫幹細胞が眠るInvasion nicheの機能解析と幹細胞破綻環境の探索	井上 明宏	医学部附属病院	1,300,000	補 委	日本学術振興会
軽度外傷性脳損傷に対するジンセノサイドRb1と誘導体の治療効果に関する研究	阪中 雅広	医学部	1,560,000	補 委	日本学術振興会
I型筋強直性ジストロフィー疾患iPS細胞を用いたリピート伸長メカニズムの解明	加門 正義	医学系研究科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
衛生仮説に資する周産期の環境要因曝露とアレルギー疾患の関連に関するコホート研究	時信 亜希子	医学系研究科	1,430,000	補 委	日本学術振興会

小計12件

ミクログリアによるシナプス 食と異性間コミュニケーション行動	田中 潤也	医学系研究科	3,120,000	補○ 委	日本学術 振興会
肝移植後虚血性胆管障害 に対する治療戦略	小川 晃平	医学系研究科	1,560,000	補○ 委	日本学術 振興会
ビックデータ解析を応用し た乳腺化生癌に対する新 規治療標的分子の同定	山下 美智子	医学部附属病院	2,210,000	補○ 委	日本学術 振興会
細胞形態制御機構を標 的とした新規HER2陽性乳 癌治療薬の導出	村上 朱里	医学部附属病院	1,430,000	補○ 委	日本学術 振興会
CUL3型ユビキチンE3複 合体による新規増殖シグ ナル制御の解明と乳癌治 療への応用	西山 加那子	医学部附属病院	1,430,000	補○ 委	日本学術 振興会
幹細胞から成熟赤血球製 造効率の向上に向けた赤 芽球脱核現象の制御研究	満田 憲昭	医学系研究科	1,690,000	補○ 委	日本学術 振興会
血中エクソソーム microRNAに着目した認知 症の予測・診断法の開発	外山 研介	医学系研究科	1,300,000	補○ 委	日本学術 振興会
エピゲノムを標的とした骨 粗鬆症に対する新規治療 標的分子の探索	柳原 裕太	学術支援センター	1,170,000	補○ 委	日本学術 振興会
三日熱マラリア伝搬阻止 効果のある患者血漿を用 いた新規ワクチン候補抗 原の探索	石野 智子	プロテオサイエンスセ ンター	7,280,000	補○ 委	日本学術 振興会
医学生の地域志向性、総 合医診療への興味を滋養 する医学教育、地域実習 法の検討	菊池 明日香	医学部附属病院	520,000	補○ 委	日本学術 振興会
アルツハイマー病のインス リンシグナリング障害およ びAβの分子病態と治療	大八木 保政	医学系研究科	1,690,000	補○ 委	日本学術 振興会
神経栄養因子を用いた顔 面神経再生治療における 病的共同運動の検討	山田 啓之	医学系研究科	4,420,000	補○ 委	日本学術 振興会

小計12件

徐放化栄養因子の経鼓膜的鼓室内投与による高度顔面神経麻痺新規治療法の開発	羽藤 直人	医学系研究科	1,170,000	補 委	日本学術振興会
頭頸部外科手術における次世代シミュレーショントレーニングの開発	三谷 壮平	医学系研究科	2,860,000	補 委	日本学術振興会
CT/SPECT 融合画像における冠動脈狭窄枝支配領域の心筋血流製剤の定量評価	倉田 聖	医学部附属病院	1,690,000	補 委	日本学術振興会
超多列化CTを駆使した低侵襲・低被曝心筋血流定量評価法の開発と応用	城戸 輝仁	医学系研究科	2,210,000	補 委	日本学術振興会
デジタルPET/CTによる冠動脈プラークおよび血管周囲脂肪組織の炎症イメージング	宮川 正男	医学部附属病院	1,170,000	補 委	日本学術振興会
CXCR4システムと癌関連線維芽細胞を標的とした口腔癌に対する集学的治療法の開発	栗林 伸行	医学系研究科	2,080,000	補 委	日本学術振興会
micro-RNAに着目したがん関連血栓症の病態解明と先制医療への展開	東 晴彦	医学部附属病院	1,430,000	補 委	日本学術振興会
リソソーム機能異常による心不全発症機構の解明	山口 修	医学系研究科	1,430,000	補 委	日本学術振興会
左室駆出分画の保たれた心不全における簡便な運動処方と左房機能改善効果の検討	井上 勝次	医学系研究科	1,820,000	補 委	日本学術振興会
数値流体力学を用いた解剖学的情報による大血管血流動態の解析	赤澤 祐介	医学部附属病院	1,560,000	補 委	日本学術振興会
オンライン診療をふまえた超高感度ELISAによる在宅採取サンプルを用いた臨床検査	高田 康徳	医学系研究科	2,470,000	補 委	日本学術振興会
レジスチン遺伝子発現制御機構におけるプロモーターSNP配列特異的効果の統合的解明	大澤 春彦	医学系研究科	1,430,000	補 委	日本学術振興会

小計12件

インスリン抵抗性惹起因子レジスチンを高発現する新たな単球サブタイプの統合的解明	池田 陽介	医学部附属病院	1,300,000	補 委	日本学術振興会
病態に基づく選択的SNPを標的としたインスリン抵抗性疾患個別化予防法の確立	高門 美沙季	医学部附属病院	1,430,000	補 委	日本学術振興会
先天性心臓手術における生体親和性ナノ複合代用心膜による心膜再生素材と治療法の開発	打田 俊司	医学部附属病院	650,000	補 委	日本学術振興会
生体吸収性素材を用いた経カテーテル心房中隔閉鎖術の移植後組織再生に関する検討	黒部 裕嗣	医学系研究科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
肺癌における新規PD-L1発現調節機構とその免疫回避としての役割の解明	佐野 由文	医学系研究科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
大動脈弁における異所性骨芽細胞分化を司る新規脂質代謝シグナルネットワークの解析	泉谷 裕則	医学系研究科	1,820,000	補 委	日本学術振興会
非平衡大気圧プラズマ(冷たいプラズマ)を用いたメラノーマに対する新規治療法の開発	白石 研	医学部附属病院	1,040,000	補 委	日本学術振興会
三次元培養皮膚を用いた乾燥状態皮膚モデルの作成	宇都宮 亮	医学系研究科	910,000	補 委	日本学術振興会
掌蹠膿疱症の発症メカニズム: 初期水疱形成環境の三次元微細構造解析と実験モデル作成	村上 正基	医学系研究科	3,770,000	補 委	日本学術振興会
HMGB1およびLL37含有軟膏による糖尿病性足病変(潰瘍)に対する治療薬の開発	戸澤 麻美	医学部附属病院	1,690,000	補 委	日本学術振興会
動静脈奇形で高発現するSNX9の分解促進剤の開発	眞田 紗代子	医学部附属病院	1,560,000	補 委	日本学術振興会
間歇型一酸化炭素中毒の病態解明及び治療の究明	越智 紳一郎	医学系研究科	1,560,000	補 委	日本学術振興会

小計12件

思春期におけるインター ネット依存の病態解明と予 防マニュアルの開発	河邊 憲太郎	医学部附属病院	1,690,000	補○ 委	日本学術 振興会
没入型内視鏡画像処理機 能と力学提示を応用した 安全な内視鏡外科手術シ ステムの開発	惠木 浩之	医学部附属病院	1,040,000	補○ 委	日本学術 振興会
新規大腸癌予後規定因子 SNX9による大腸癌発症進 行機構の解明	谷川 和史	医学部附属病院	1,560,000	補○ 委	日本学術 振興会
前十字靭帯再建型人工膝 関節の開発:機能解析と 最適化	日野 和典	医学系研究科	390,000	補○ 委	日本学術 振興会
キメラ型抗原受容体遺伝 子導入Tリンパ球による原 発性骨髄線維症に対する 細胞免疫療法	谷本 一史	医学部附属病院	1,560,000	補○ 委	日本学術 振興会
グルタミン代謝抑制による CD8+ T細胞の抗腫瘍活 性増強法のヒトへの応用	名部 彰悟	医学系研究科	1,300,000	補○ 委	日本学術 振興会
血管炎症候群の新規活動 性バイオマーカーの実用 化に向けた検証と新規治 療標的の探索	石崎 淳	医学部附属病院	1,950,000	補○ 委	日本学術 振興会
脳梗塞・脳出血後の血液 中monocyteの変化と重症 度の関係	阿部 尚紀	医学部附属病院	1,300,000	補○ 委	日本学術 振興会
静脈麻酔薬プロポフォー ールによるT細胞代謝変化 が腫瘍免疫応答に与える 影響	萬家 俊博	医学系研究科	1,820,000	補○ 委	日本学術 振興会
消化管ホルモン受容体活 性化機構と相互連関	松浦 文三	医学系研究科	1,560,000	補○ 委	日本学術 振興会
PKR代謝制御に着目した NASH関連肝細胞癌の発 症・進展機序解明と創薬 応用	渡辺 崇夫	医学系研究科	1,300,000	補○ 委	日本学術 振興会
療養病床における経管栄 養を受ける高齢者の排便 ケアに関する包括的質評 価指標の開発	小岡 亜希子	医学系研究科	520,000	補○ 委	日本学術 振興会

小計12件

在宅要介護高齢者のアセスメントに基づいた在宅排尿ケアプログラムの構築	田中 久美子	医学系研究科	1,430,000	補 委	日本学術 振興会
ペアレント・メンター等の地域資源と連携した発達障害児の家族支援プログラムの開発	西嶋 真理子	医学系研究科	1,430,000	補 委	日本学術 振興会
在宅緩和ケアコーディネーターの活動上の困難とそれを乗り越えるに至った要因	吉田 美由紀	医学系研究科	1,170,000	補 委	日本学術 振興会
前白血病幹細胞を標的とした小児白血病の発症予防の試み	江口 峰斉	医学部附属病院	1,820,000	補 委	日本学術 振興会
レックリングハウゼン病遺伝子Nf1を応用した角膜実質透明治癒に向けた治療戦略確立	白石 敦	医学系研究科	780,000	補 委	日本学術 振興会
クラスタリング手法によるMRI画像解析ー聴神経鞘腫の病態解明と先制医療の実現ー	國枝 武治	医学系研究科	2,860,000	補 委	日本学術 振興会
伝統薬物成分、合成成分の発癌と癌増殖に及ぼす免疫機能活性化・制御と環境制御作用	木村 善行	医学部	1,950,000	補 委	日本学術 振興会
中高齢者の歯周病のリスク要因を解明し、全身疾患を予防する:前向きコホート研究	田中 景子	医学系研究科	1,430,000	補 委	日本学術 振興会
なんのために眠るのか?:ミクログリアによる入眠時のシナプス貪食からの解明	チョードリ エマムツ セレヒン	医学系研究科	1,950,000	補 委	日本学術 振興会
血管の炎症と動脈硬化:インフラマソーム活性化の動脈硬化への寄与の病理学的解明	倉田 美恵	プロテオサイエンスセンター	1,430,000	補 委	日本学術 振興会
カダバーサージカルトレーニングにおける消化器外科手術に適した灌流固定法の開発	高田 泰次	医学系研究科	1,690,000	補 委	日本学術 振興会
安全かつ迅速で正確な腹腔鏡手術のための革新的上方照明システムの有用性の検証	高井 昭洋	医学部附属病院	1,170,000	補 委	日本学術 振興会

小計12件

ビッグデータ解析に基づく前立腺癌の骨転移分子メカニズム解明と新規治療/予防法の探索	沢田 雄一郎	医学部附属病院	1,690,000	補 委	○ 委	日本学術振興会
更年期女性の不定愁訴及び行動特性の客観的評価とヘルスリテラシーとの関連	城賀本 晶子	医学系研究科	390,000	補 委	○ 委	日本学術振興会
糖尿病合併がん患者の糖尿病療養と化学療法の副作用の自己管理支援プログラム開発	寺尾 奈歩子	医学系研究科	130,000	補 委	○ 委	日本学術振興会
ブロック拠点病院のない自治体における中核拠点病院の機能評価と体制整備のための研究	高田 清式	医学部附属病院	11,700,000	補 委	○ 委	厚生労働省
小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の発展に資する研究	檜垣 高史	医学系研究科	10,800,000	補 委	○ 委	厚生労働省
精神科医療機関における新型コロナウイルス感染症に対する感染対策の現状と課題把握、及び今後の方策に向けた研究	上野 修一	医学系研究科	9,600,000	補 委	○ 委	厚生労働省
核酸アナログ離脱を目的とするB型肝炎ウイルスに対する免疫治療法の開発	日浅 陽一	医学系研究科	11,690,000	補 委	○ 委	日本医療研究開発機構
高分化能を保有する新型ヒトiPS細胞T-iPS細胞の有用性実証研究	加藤 英政	医学系研究科	13,000,000	補 委	○ 委	日本医療研究開発機構
高齢中高度難聴者のQOLを改善する革新的骨導補聴デバイスの開発	羽藤 直人	医学系研究科	8,972,600	補 委	○ 委	日本医療研究開発機構
福山型筋ジストロフィーおよび類縁の糖鎖異常型筋ジストロフィーに対する糖鎖補充療法の開発	金川 基	医学系研究科	24,700,000	補 委	○ 委	日本医療研究開発機構
機械受容応答を支える膜・糖鎖環境の解明と筋疾患治療への展開	金川 基	医学系研究科	15,217,969	補 委	○ 委	日本医療研究開発機構
腫瘍微小環境を標的として革新的キメラ抗原受容体T細胞療法の検証	越智 俊元	医学系研究科	1,540,000	補 委	○ 委	日本医療研究開発機構

小計12件
計 178

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院におけ る所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Kuwabara N, Imae R, Many H, et al.	医化学・細胞生物学	Crystal structures of fukutin-related protein (FKRP), a ribitol-phosphate transferase related to muscular dystrophy.	Nat Commun. 2020 Jan 16;11(1):303. doi: 10.1038/s41467-019-14220-z.	Original Article
2	Seki T, Kanagawa M, Kobayashi K, et al.	医化学・細胞生物学	Galectin 3-binding protein suppresses amyloid-beta production by modulating beta-cleavage of amyloid precursor protein.	J Biol Chem. 2020 Mar 13;295(11):3678-3691. doi: 10.1074/jbc.RA119.008703.	Original Article
3	Morioka S, Sakaguchi H, Mohri H,et al.	医化学・細胞生物学	Congenital hearing impairment associated with peripheral cochlear nerve dysmyelination in glycosylation-deficient muscular dystrophy	PLoS Genet. 2020 May 26;16(5):e1008826. doi: 10.1371/journal.pgen.1008826.	Original Article
4	Furukawa JI, Hanamatsu H, Nishikaze T,et al.	医化学・細胞生物学	Lactone-Driven Ester-to-Amide Derivatization for Sialic Acid Linkage-Specific Alkylamidation.	Anal Chem. 2020 Nov 3;92(21):14383-14392. doi: 10.1021/acs.analchem.0c02209.	Original Article
5	Min LJ, Iwanami J, Shudou M,et al.	医化学・細胞生物学	Deterioration of cognitive function after transient cerebral ischemia with amyloid- β infusion-possible amelioration of cognitive function by AT2 receptor activation.	J Neuroinflammation. 2020 Apr 7;17(1):106. doi: 10.1186/s12974-020-01775-8.	Original Article
6	Watanabe R, Maekawa M, Hieda M,et al.	生化学・分子遺伝学	SPOP is essential for DNA-protein cross-link repair in prostate cancer cells: SPOP-dependent removal of topoisomerase 2A from the topoisomerase 2A-DNA cleavage complex.	Mol Biol Cell. 31:478-490. doi: 10.1091/mbc.E19-08-0456.	Original Article
7	Tezuka-Kagajo M, Maekawa M, Ogawa A, et al.	生化学・分子遺伝学	Development of Human CBF1-Targeting Single-Stranded DNA Aptamers with Antiangiogenic Activity In Vitro.	Nucleic Acid Ther. 30(6):365-378. doi: 10.1089/nat.2020.0875.	Original Article
8	Okitsu-Sakurayama S, Higa-Nakamine S, Torihara H, et al.	生化学・分子遺伝学	Roles of Pyk2 in signal transduction after gonadotropin-releasing hormone receptor stimulation.	J Cell Physiol. 236(4):3033-3043. doi: 10.1002/jcp.30077.	Original Article
9	Tanaka M, Nakamura S, Maekawa M, Higashiyama S, et al.	生化学・分子遺伝学	ANKFY1 is essential for retinal endothelial cell proliferation and migration via VEGFR2/Akt/eNOS pathway	Biochem Biophys Res Commun. 533:1406-1412. doi: 10.1016/j.bbrc.2020.10.032.	Original Article
10	Nagasawa T, Ishimaru K, Higashiyama S, et al.	生化学・分子遺伝学	Teadenol A in microbial fermented tea acts as a novel ligand on GPR120 to increase GLP-1 secretion.	Food Funct. 11:10534-10541. doi: 10.1039/d0fo02442b.	Original Article
11	Nakayama H, Nakahara M, Matsugi E,et al.	生化学・分子遺伝学	Protective Effect of Ferulic Acid against Hydrogen Peroxide Induced Apoptosis in PC12 Cells.	Molecules. 2020 Dec 28;26(1):90. doi: 10.3390/molecules26010090.	Original Article
12	Yukie Murata, Kana Sugimoto, Chihpin Yang, et al.	分子細胞生理学	Activated microglia-derived macrophage-like cells exacerbate brain edema after ischemic stroke correlate with astrocytic expression of aquaporin-4 and interleukin-1 α release	Neurochem Int 140 (2020) 104848 DOI: 10.1016/j.neuint.2020.104848	Original Article
13	Toshihiro Jogamoto, Ryo Utsunomiva, Arisa Sato, et al.	分子細胞生理学	Lister hooded rats as a novel animal model of attention-deficit/hyperactivity disorder	Neurochem Int 141 (2020) 104857 DOI: 10.1016/j.neuint.2020.104857	Original Article
14	Mohammed E. Choudhury, Kazuya Miyanishi, Haruna Takeda,	分子細胞生理学	Phagocytic elimination of synapses by microglia during sleep	Glia 68 (2020) 44-59 DOI: 10.1002/glia.23698	Original Article

小計14件

15	Kushioka, J., Kaito, T., Okada, R., et al.	分子病態医学	A Novel Negative Regulatory Mechanism of Smurf2 in Bmp/Smad Signaling in Bone	Bone Res. 2020 Nov 23;8(1):41. doi: 10.1038/s41413-020-00115-z.	Original Article
16	Miyajima, C., Kawarada, Y., Inoue, Y., et al.	分子病態医学	Transcriptional Coactivator TAZ Negatively Regulates Tumor Suppressor p53 Activity and Cellular Senescence	Cells. 2020 Jan 9;9(1). pii: cells9010171. doi: 10.3390/cells9010171.	Original Article
17	Murakami, M., Kawakami, R., Niko, Y., et al.	分子病態医学	High-quality Fluorescence Imaging of the Human Acrosyringium Using a Transparency: Enhancing Technique and an Improved, Fluorescent Solvatochromic Pyrene Probe	Acta Histochem Cytochem. 2020 Dec 25;53(6):131-138. doi: 10.1267/ahc.20-00020. Epub 2020 Nov 21.	Original Article
18	Watanabe, T., Ninomiva, H., Saitou, T., et al.	分子病態医学	Therapeutic effects of the PKR inhibitor C16 suppressing tumor proliferation and angiogenesis in hepatocellular carcinoma in vitro and in vivo	Sci Rep. 2020 Mar 20;10(1):5133. doi: 10.1038/s41598-020-61579-x.	Original Article
19	Nakao, A., Yamanouchi, J., Takenaka, K., et al.	血液・免疫・感染症内科学	The Iowa ganmbing task on HIV-infected subjects.	J Infect Chemother. 26(3): 240-244	Original Article
20	Konishi, T., Doki, N., Nagata, A., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Unmanipulated haploidentical hematopoietic stem cell transplantation using very low-dose antithymocyte globulin and methylprednisolone in adults with relapsed/refractory acute leukemia.	Ann Hematol. 99(1): 147-155	Original Article
21	Kaito, S., Sekiya, N., Najima, Y., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Nutritional risk index as a risk factor for breakthrough candidemia in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Bone Marrow Transplant. 55(3): 661-664	Original Article
22	Sugihara, T., Hasegawa, H., Uchida, HA., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Associated factors of poor treatment outcomes in patients with giant cell arteritis: clinical implication of large vessel lesions.	Arthritis Res Ther. 22(1): 72	Original Article
23	Kashima, S., Maeda, T., Masuda, K., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Cytotoxic T lymphocytes regenerated from iPS cells have therapeutic efficacy in a patient-derived xenograft solid tumor model.	iScience. 23(4): 100998	Original Article
24	Jinnouchi, F., Yamauchi, T., Yurino, A., et al.	血液・免疫・感染症内科学	A human SIRPA knock-in xenograft mouse model to study human hematopoietic and cancer stem cells.	Blood. 135(19): 1661-1672	Original Article
25	Yuda, J., Odawara, J., Minami, M., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Tyrosine kinase inhibitors induce alternative spliced BCR-ABLins35bp variant via inhibition of RNA polymerase II on genomic BCR-ABL.	Cancer Sci. 111(7): 2361-2373	Original Article
26	Yokoyama, H., Takenaka, K., Seo, S., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Favorable effect of cytomegalovirus reactivation on outcomes in cord blood transplant and its differences among disease risk or type.	Bio Blood Marrow Transplant. 26(7): 1363-1370	Original Article
27	Fukui, S., Ichinose, K., Sada, KE., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Complement profile in microscopic polyangiitis and granulomatosis with polyangiitis: analysis using sera from a nationwide prospective cohort study.	Scand J Rheumatol. 49(4): 301-311	Original Article
28	Kaito, S., Wada, A., Adachi, H., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Geriatric nutritional risk index as a useful prognostic factor in second allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Ann Hematol. 99(7): 1655-1665	Original Article
29	Kurosawa, S., Doki, N., Senoo, Y., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Bone turnover markers as an aid to monitor osteoporosis following allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Ann Hematol. 99(8): 1873-1882	Original Article
30	Konishi, T., Ogawa, H., Najima, Y., et al.	血液・免疫・感染症内科学	Safety of total body irradiation using intensity-modulated radiation therapy by helical tomotherapy in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation: a prospective pilot study.	J Radiat Res. 61(6): 969-976	Original Article

小計16件

31	Toya, T., Taguchi, A., Kitaura, K., et al.	血液・免疫・感染症内科学	T-cell receptor repertoire of cytomegalovirus-specific cytotoxic T-cells after allogeneic stem cell transplantation.	Sci Rep. 10(1): 22218	Original Article
32	<u>Motoki I.</u> Shimizu- Motohashi Y, Saito I, et al.	小児科学	Renal dysfunction can occur in advanced-stage Duchenne muscular dystrophy	Muscle and Nerve 61, 192-197 (IF 2.280)	Original Article
33	Hirono K, Hata Y, Miyao N, et al.	小児科学	Increased Burden of Ion Channel Gene Variants Is Related to Distinct Phenotypes in Pediatric Patients With Left Ventricular Noncompaction	Genomic and Precision Medicine 13(4) 240-249 (IF 4.063)	Original Article
34	Ito S, Hirobe S, <u>Kuwabara Y</u> , et al.	小児科学	Immunogenicity of Milk Protein-Containing Hydrophilic Gel Patch for Epicutaneous Immunotherapy for Milk Allergy.	Pharmaceutical Research. 37(3):35. (IF 3.980)	Original Article
35	<u>Kuwabara Y</u> , Nii R, Tanaka K, et al.	小児科学	Season of birth is associated with increased risk of atopic dermatitis in Japanese infants: A Retrospective Cohort Study	Allergy Asthma Clin Immunol 29;16:44 (IF: 2.630)	Original Article
36	Okamoto K, <u>Motoki I.</u> Saito I, et al.	小児科学	Survey of Patients With Spinal Muscular Atrophy on the Island of Shikoku, Japan	Brain and Development 42(8)594-602 (IF: 1.860)	Original Article
37	Sakaguchi K, Imamura T, Ishimaru S, et al.	小児科学	Nationwide study of pediatric B-cell precursor acute lymphoblastic leukemia with chromosome 8q24/MYC rearrangement in Japan	Pediatr Blood & Cancer 67(7): e28341	Original Article
38	<u>Takakado M.</u> <u>Takata Y.</u> Yamagata F, et al.	糖尿病内科学	Simple and non-invasive screening method for diabetes based on myoinositol levels in urine samples collected at home.	BMJ Open Diabetes Res Care. 2020 Feb;8(1). pii: e000984. doi:10.1136/bmjdr-2019-000984.	Original Article
39	Sugimoto K, Ikegami H, <u>Takata Y</u> , et al.	糖尿病内科学	Glycemic Control and Insulin Improve Muscle Mass and Gait Speed in Type 2 Diabetes: The MUSCLES-DM Study.	J Am Med Dir Assoc. 2020 Dec 2:S1525-8610(20)30967-1.	Original Article
40	Saito I, Maruyama K, Kato T, et al.	糖尿病内科学	Influence of Insulin Resistance on the Association Between Physical Activity and Heart Rate Variability: The Toon Health Study.	J Phys Act Health. 2020 Sep 17:1-8.	Original Article
41	Goto R, Tanigawa T, Maruyama K, et al.	糖尿病内科学	Associations of snoring frequency with blood pressure among the lean Japanese population: The Toon Health Study.	J Hum Hypertens. 2020 Apr;34(4):271-277. doi: 10.1038/s41371-018-0148-9.	Original Article
42	<u>Higashioka M.</u> Hirakawa Y, <u>Kawamura R</u> , et al.	糖尿病内科学	Ratios of serum eicosapentaenoic acid to arachidonic acid and docosahexaenoic acid to arachidonic acid were inversely associated with serum resistin levels: The Hisayama Study.	J Diabetes Investig. 2020 Mar;11(2):482-489. doi: 10.1111/jdi.13129.	Original Article
43	<u>Higashioka M.</u> Sakata S, Honda T, et al.	糖尿病内科学	Small dense low-density lipoprotein-cholesterol and the risk of coronary heart disease in a Japanese community.	Journal of Atherosclerosis and Thrombosis. 2020 Jul 1;27(7):669-682. doi:10.5551/jat.51961.	Original Article
44	<u>Ozaki Y.</u> <u>Yoshino Y.</u> <u>Yamazaki K</u> , et al.	精神神経科学	DRD2 methylation to differentiate dementia with Lewy bodies from Parkinson's disease	Acta Neurol Scand. 2020 Feb;141(2):177-182. doi: 10.1111/ane.13186. Epub 2019 Nov 16.	Original Article
45	<u>Yamazaki K.</u> <u>Yoshino Y.</u> <u>Kawabe K</u> , et al.	精神神経科学	ABCA7 Gene Expression and Genetic Association Study in Schizophrenia	Neuropsychiatr Dis Treat. 2020 Feb 13;16:441-446. doi: 10.2147/NDT.S238471. eCollection 2020.	Original Article
46	<u>Miyamoto K.</u> <u>Funahashi Y.</u> <u>Yoshino Y.</u> , et al.	精神神経科学	CTLA4 mRNA expression in blood is lower in schizophrenia, but not in affective disorders	Asian J Psychiatr. 2020 Aug;52:102112. doi: 10.1016/j.ajp.2020.102112. Epub 2020 Apr 19.	Original Article

小計16件

47	Miki T, Yokota O, Haraguchi T, et al.	精神神経科学	Factors associated with development and distribution of granular/fuzzy astrocytes in neurodegenerative diseases	Brain Pathol. 2020 Jul;30(4):811-830. doi: 10.1111/bpa.12843. Epub 2020 May 6.	Original Article
48	Ochi M, Kawabe K, Ochi S, et al.	精神神経科学	School refusal and bullying in children with autism spectrum disorder	Child Adolesc Psychiatry Ment Health. 2020 May 7;14:17. doi: 10.1186/s13034-020-00325-7. eCollection 2020.	Original Article
49	Yoshino Y, Yoshida T, Morino H, et al.	精神神経科学	Prevalence of possible idiopathic normal pressure hydrocephalus in older inpatients with schizophrenia: a replication study	BMC Psychiatry. 2020 Jun 1;20(1):273. doi: 10.1186/s12888-020-02690-1.	Original Article
50	Kawabe K, Hosokawa R, Nakachi K, et al.	精神神経科学	Making a brochure about coronavirus disease (COVID-19) for children with autism spectrum disorder and their family members	Psychiatry Clin Neurosci. 2020 Sep;74(9):498-499. doi: 10.1111/pcn.13090. Epub 2020 Jul 10.	Original Article
51	Horiuchi F, Oka Y, Kawabe K, et al.	精神神経科学	Sleep Habits and Electronic Media Usage in Japanese Children: A Prospective Comparative Analysis of Preschoolers	Int J Environ Res Public Health. 2020 Jul 17;17(14):5189. doi: 10.3390/ijerph17145189.	Original Article
52	Kawabe K, Horiuchi F, Nakachi K, et al.	精神神経科学	Prevalence of Internet addiction in Japan: Comparison of two cross-sectional surveys	Pediatr Int. 2020 Aug;62(8):970-975. doi: 10.1111/ped.14250. Epub 2020 Jul 28.	Original Article
53	Ochi S, Iga JI, Funahashi Y, et al.	精神神経科学	Identifying Blood Transcriptome Biomarkers of Alzheimer's Disease Using Transgenic Mice	Mol Neurobiol. 2020 Dec;57(12):4941-4951. doi: 10.1007/s12035-020-02058-2. Epub 2020 Aug 20.	Original Article
54	Ninomiya T, Nakaji S, Maeda T, et al.	精神神経科学	Study design and baseline characteristics of a population-based prospective cohort study of dementia in Japan: the Japan Prospective Studies Collaboration for Aging and Dementia (JPSC-AD)	Environ Health Prev Med. 2020 Oct 31;25(1):64. doi: 10.1186/s12199-020-00903-3.	Original Article
55	Kawabe K, Hosokawa R, Nakachi K, et al.	精神神経科学	Excessive and Problematic Internet Use During the Coronavirus Disease 2019 School Closure: Comparison Between Japanese Youth With and Without Autism Spectrum Disorder	Front Public Health. 2020 Dec 17;8:609347.	Original Article
56	Horiuchi F, Kawabe K, Oka Y, et al.	精神神経科学	The Association between Autistic Traits and Sleep Habits/Problems in Toddlers	Dev Neuropsychol. 2020 Dec 18;45(7-8):485-495. doi: 10.1080/87565641.2020.1865357.	Original Article
57	Iida H, Iga J, Hasegawa N, et al.	精神神経科学	Unmet needs of patients with major depressive disorder - Findings from the 'Effectiveness of Guidelines for Dissemination and Education in Psychiatric Treatment (EGUIDE)' project: A nationwide dissemination, education, and evaluation study	Psychiatry Clin Neurosci. 2020 Dec;74(12):667-669. doi: 10.1111/pcn.13143. Epub 2020 Oct 9.	Original Article
58	Ichihashi K, Hori H, Hasegawa N, et al.	精神神経科学	Prescription patterns in patients with schizophrenia in Japan: First-quality indicator data from the survey of "Effectiveness of Guidelines for Dissemination and Education in psychiatric treatment (EGUIDE)" project	Neuropsychopharmacol Rep. 2020 Sep;40(3):281-286. doi: 10.1002/npr2.12122. Epub 2020 Jun 30.	Original Article
59	Yoshino Y, Dwivedi Y	精神神経科学	Non-coding RNAs in Psychiatric Disorders and Suicidal Behavior.	Frontiers in Psychiatry. 2020;11:543893. doi: 10.3389/fpsy.2020.543893.	Original Article
60	Yoshino Y, Roy B, Dwivedi Y	精神神経科学	Altered miRNA landscape of the anterior cingulate cortex is associated with potential loss of key neuronal functions in depressed brain.	Eur Neuropsychopharmacol. 2020;S0924-977X(20)30189-9. doi: 10.1016/j.euroneuro.2020.06.004.	Original Article
61	Yoshino Y, Dwivedi Y.	精神神経科学	Elevated expression of unfolded protein response genes in the prefrontal cortex of depressed subjects: Effect of suicide.	J Affect Disord. 2020;1:262:229-236.	Original Article
62	Roy B, Yoshino Y, Allen L, et al.	精神神経科学	Exploiting Circulating MicroRNAs as Biomarkers in Psychiatric Disorders.	Mol Diagn Ther. 2020 Jun;24(3):279-298. doi: 10.1007/s40291-020-00464-9.	Original Article

小計16件

63	Sakamoto K. Ogawa K. , Matsui I. et al.	肝胆膵・乳腺外科学	Vertical interval between hepatic segment of inferior vena cava and right atrium predicts intraoperative blood loss during hemi-hepatectomy.	J Hepatobiliary Pancreat Sci 2020;27(2):90-100	Original Article
64	Sakamoto K. Ogawa K. , Inoue H. et al.	肝胆膵・乳腺外科学	Significant association between the preoperative erythrocyte mean corpuscular volume and infectious complications after pancreaticoduodenectomy.	Surg Today 2020;doi:10.1007/s00595-020-02083-7	Original Article
65	Sakamoto K. Ogawa K. , Tamura K. et al.	肝胆膵・乳腺外科学	Usefulness of a balloon catheter for intraoperative cholangiography during living donor hepatectomy: A product investigation.	Ann Transplant 2020;25:e929062	Original Article
66	Sakamoto K. Honda G, Beppu T, et al.	肝胆膵・乳腺外科学	Comprehensive data of 3525 patients newly diagnosed with colorectal liver metastasis between 2013 and 2014: 2nd report of a nationwide survey in Japan.	J Hepatobiliary Pancreat Sci 2020;27(8):555-562	Original Article
67	Yamamoto M, Yoshida M, Furuse J, et al.	肝胆膵・乳腺外科学	Clinical practice guidelines for the management of liver metastases from extrahepatic primary cancer 2021.	J Hepatobiliary Pancreat Sci 2020. doi:10.1002/jhbp.868	Original Article
68	Kobayashi S, Beppu T, Honda G, et al.	肝胆膵・乳腺外科学	Survival benefit of and indications for adjuvant chemotherapy for resected colorectal liver metastases—a Japanese nationwide survey.	J Gastrointest Surg 2020;24(6):1244-1260	Original Article
69	Funamizu N, Omura K, Takada Y. et al.	肝胆膵・乳腺外科学	Geriatric nutritional risk index less than 92 is a predictor for late postpancreatectomy hemorrhage following pancreatoduodenectomy: A retrospective cohort study.	Cancers 2020;12(10):E2779	Original Article
70	Funamizu N, Omura K, Ozaki T, et al.	肝胆膵・乳腺外科学	Geriatric nutritional risk index serves as risk factor of surgical site infection after pancreatoduodenectomy: a validation cohort Ageo study.	Gland Surg 2020;9(6):1982-1988	Original Article
71	Koizumi M, Kumagi T, Kuroda T, et al.	肝胆膵・乳腺外科学	Endoscopic stent placement above the sphincter of Oddi for biliary strictures after living donor liver transplantation.	BMC Gastroenterol 2020;20(1):92. doi:10.1186/s12876-020-01266-x	Original Article
72	Yamada S, Fujii T, Yamamoto T, et al.	肝胆膵・乳腺外科学	Phase I / II study of adding intraperitoneal paclitaxel in patients with pancreatic cancer and peritoneal metastasis.	Br J Surg 2020;107(13):1811-1817	Original Article
73	Okada K, Matsuda M, Tsuda T, et al.	肝胆膵・乳腺外科学	Dual-energy computed tomography for evaluation of breast cancer: value of virtual monoenergetic images reconstructed with a noise-reduced monoenergetic reconstruction algorithm.	Jpn J Radiol 2020;38(2):154-164	Original Article
74	Dai X. , Tohyama M. , Murakami M. et al.	皮膚科学	House dust mite allergens induce interleukin 33 (IL-33) synthesis and release from keratinocytes via ATP-mediated extracellular signaling.	Biochim Biophys Acta Mol Basis Dis.;1866(5):165719. doi: 10.1016/j.bbdis.2020.165719. Epub, Feb 7, 2020.	Original Article
75	Murakami M. Terui T.	皮膚科学	Palmoplantar pustulosis: Current understanding of disease definition and pathomechanism	J of Dermatol.Sci.; 98(1): 13-19, Apr, 2020.	Original Article
76	Miyake K, Mori H, Matsuma S, et al.	皮膚科学	A new method measurement for finger range of motion using a smartphone	J of Plast. Surg. and Hand Surg.; 54(4): 207-214. doi: 10.1080/2000656X.2020.1755296 . Aug. 2020. Epub 2020 Apr 24. PMID: 3232966	Original Article
77	Murakami M.	皮膚科学	Guselkumab for the treatment of palmoplantar pustulosis	Expert Opnion on Biological Therapy: 20(8); 841-852, doi: 10.1080/14712598.2020.1760244 . Epub, May 12, 2020.	Original Article
78	Yamamoto T, Hiraiwa T, Tobita R, et al.	皮膚科学	Characteristics of Japanese patients with pustulotic arthro-osteitis associated with palmoplantar pustulosis: a multicenter study.	Int J Dermatol. ; 59(4): 441-444. doi: 10.1111/jid.14788. Epub, Jan 26, 2020.	Original Article
79	Strober B, Ryan C, van de Kerkhof P, et al.	皮膚科学	Recategorization of psoriasis severity: Delphi consensus from the International Psoriasis Council.	J Am Acad Dermatol. ; 82(1):117-122. doi: 10.1016/j.jaad.2020.08.026. Epub, Aug 16, 2020.	Original Article

小計17件

80	Kawazoe H, Mori N, Ido S, et al.	臨床腫瘍学	Liquid Formulation of Gemcitabine Increases Venous Pain in Patients With Cancer: A Retrospective Study.	Clin. Therap. 42: 712-719	Original Article
81	Kagami Y, Yamamoto K, Shibata T, et al.	臨床腫瘍学	R-CHOP-14 versus R-CHOP-14 / CHASER for upfront autologous transplantation in diffuse large B-cell lymphoma: JCOG0908 study.	Cancer Sci. 111:3770-3779	Original Article
82	Nakauchi N, Ido S, Sumikawa S, et al.	臨床腫瘍学	Assessment of chemotherapy-induced adverse events using a sharing system of patient-reported information via a touch panel.	Cancer Chemother. 47: 801-806	Original Article
83	Md. Saiful Islam Khan, Md. Sakirul Islam Khan, Chitto Ranjan Debnath, et al.	解剖学・発生学	Reply to "Ivermectin Treatment May Improve the Prognosis of Patients with COVID-19"	Archivos de Bronconeumología 2020, 57(2) 65-66	Original Article
84	Tetsuya Shimokawa, Hiroaki Nabeka, Sakirul Islam Khan, Kimiko	解剖学・発生学	Prosaposin in the rat oviductal epithelial cells	Cell Tissue Res. 2020, 383(3):1191-1202, doi: 10.1007/s00441-020-03339-x.	Original Article
85	Md Saiful Islam Khan, Md Sakirul Islam Khan, Chitto Ranjan Debnath, et al.	解剖学・発生学	Ivermectin treatment may improve the prognosis of patients with COVID-19	Archivos de Bronconeumología 2020, 56(12), 828-830	Original Article
86	Md Sakirul Islam Khan, Hiroaki Nabeka, Sheikh Mohammad Fazle Akbar, et al.	解剖学・発生学	Risk of congenital birth defects during COVID-19 pandemic: Draw attention to the physicians and policymakers	J Glob Health. 2020, 10(2): 020378. doi: 10.7189/jogh.10.020378	Original Article
87	Ruksana Raihan, Sheikh Mohammad Fazle Akbar, Mamun Al Mahtab, et al.	解剖学・発生学	Increased Proinflammatory Cytokine Production by Chronic Hepatitis B Patients with Mutant Hepatitis B Virus: Plausible Mechanisms Underlying Severe Liver Diseases in These Patients.	Viral immunology 2020, 33(7) 530-534	Original Article
88	T Tachibana, A Nakatani, M S Islam Khan, et al.	解剖学・発生学	Behavioral and physiological responses to intraperitoneal injection of zymosan in chicks	Domestic animal endocrinology 2020, 72 106471-106471	Original Article
89	Tachibana T, Takeda K, Khan MSI, et al.	解剖学・発生学	Effects of toll-like receptor-7 agonists on feeding behavior, voluntary activity, cloacal temperature and crop emptying in chicks	British Poultry Science 2020, 61 1-8	Original Article
90	Joji Kunihiro, Hiroaki Nabeka, Hiroyuki Wakisaka, et al.	解剖学・発生学	Prosaposin and its receptors GRP37 and GPR37L1 show increased immunoreactivity in the facial nucleus following facial nerve transection	PloS one 2020, 15(12) e0241315	Original Article
91	A KM Faizul Huq, Mamun Al Mahtab, Nuzhat Choudhury, et al.	解剖学・発生学	Healthcare for non-Covid-19 liver disease patients during the Covid-19 pandemic in Bangladesh: Current trend and future implications	Journal of Family Medicine and Primary Care 2020, 9(8) 4499-4501	Original Article
92	Mamun A Mahtab, Faizul Huq, Sheikh Mohammad N. et al.	解剖学・発生学	Tele-education for hepatology residents in Bangladesh during the Covid-19 pandemic	Journal of Family Medicine and Primary Care 2020, 9(8) 4476-4477	Original Article
93	Md. Sarikul Khan, Hiroaki Nabeka, Farzana Islam, et al.	解剖学・発生学	Suppression of GABAergic transmission in the spinal dorsal horn induces pain-related behaviour in a chicken model of spina bifida	Folia Neuropathologica 2020, 58(2) 151-165	Original Article
94	Muhammad AR Bhuyan, Mamun Al Mahtab, Eshita Ashab, et al.	解剖学・発生学	Treatment of COVID-19 Patients at a Medical College Hospital in Bangladesh	Euroasian Journal of Hepato-gastroenterology 2020, 10(1) 27-30	Original Article
95	Islam F. Khan MSI, Nabeka H, Shimokawa T, et al.	解剖学・発生学	Age- and sex-associated changes in prosaposin and its receptors in the lacrimal glands of rats	Histology and histopathology 2020, 35 69-81	Original Article
96	Sonjoy Sarkar, Takeshi Homma, Sawa Onouchi, et al.	解剖学・発生学	Expression of the G protein-coupled receptor (GPR) 37 and GPR37L1 in the mouse digestive system	The Journal of veterinary medical science 2020, doi: 10.1292/jvms.20-0603	Original Article

小計17件

97	N Tanaka, H Kato, H Tsuda, Y Sato, T Muramatsu, et al.	機能組織学	Development of a high-efficacy reprogramming method for generating human induced pluripotent stem (iPS) cells from pathologic somatic cells	Int J Mol Sci. 2020 Sep 15;21(18):6764. doi: 10.3390/ijms21186764.	Original Article
98	Takeshita H, Yamamoto K, Mogi M, et al.	薬理学	Different effects of the deletion of angiotensin converting enzyme 2 and chronic activation of the renin-angiotensin system on muscle weakness in middle-aged mice.	Hypertens Res. 43(4): 296-304. doi: 10.1038/s41440-019-0375-7.	Original Article
99	Sahid MNA, Liu S, Mogi M, Maeyama K. (2020)	薬理学	Tachykinin-1 receptor antagonism suppresses substance-P- and compound 48/80-induced mast cell activation from rat mast cells expressing functional mas-related GPCR B3.	Inflamm Res. 69(3): 289-298. doi: 10.1007/s00011-020-01319-z.	Original Article
100	Yamaguchi A, Jitsuishi T, Hozumi T, Iwanami J, et al.	薬理学	Temporal expression profiling of DAMPs-related genes revealed the biphasic post-ischemic inflammation in the experimental stroke model.	Mol Brain. 13(1): 57. doi: 10.1186/s13041-020-00598-1.	Original Article
101	Kiyoi T, Liu S, Takemasa E, Nakaoka H, et al.	薬理学	Constitutive hydrogen inhalation prevents vascular remodeling via reduction of oxidative stress.	PLoS One. 15(4): e0227582. doi: 10.1371/journal.pone.0227582.	Original Article
102	Liu S, Kiyoi T, Ishida M, Mogi M. (2020)	薬理学	Assessment and Comparison of the Efficacy of Methotrexate, Prednisolone, Adalimumab, and Tocilizumab on Multipotency of Mesenchymal Stem Cells.	Front Pharmacol. 11: 1004. doi: 10.3389/fphar.2020.01004.	Original Article
103	Sawada Y, Kikugawa T, Iio H, Sakakibara I, et al.	病態生理学	GPRC5A facilitates cell proliferation through cell cycle regulation and correlates with bone metastasis in prostate cancer	Int J Cancer. 2020 Mar 1;146(5):1369-1382. doi: 10.1002/ijc.32554.	Original Article
104	Kohara Y, Haraguchi R, Kitazawa R, et al.	病態生理学	Hedgehog Inhibitors Suppress Osteoclastogenesis in In Vitro Cultures, and Deletion of Smo in Macrophage/Osteoclast Lineage Prevents Age-Related Bone Loss	Int. J. Mol. Sci. 2020 Apr 15;21(8):2745. doi: 10.3390/ijms21082745.	Original Article
105	Seko D, Fujita R, Kitajima Y, et al.	病態生理学	Estrogen receptor beta controls muscle growth and regeneration in young female mice	Stem Cell Reports. 2020 Sep 8;15(3):577-586. doi: 10.1016/j.stemcr.2020.07.017.	Original Article
106	Saeki N, Imai Y.	病態生理学	Reprogramming of synovial macrophage metabolism by synovial fibroblasts under inflammatory conditions	Cell Commun Signal. 2020 Nov 30;18:188. doi: 10.1186/s12964-020-00678-8.	Original Article
107	Kinoshita M, Inoue K, Higashi H, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Impact of right ventricular contractile reserve during low-load exercise on exercise intolerance in heart failure.	ESC Heart Fail 2020; 7: 3810-3820.	Original Article
108	Higashi H, Inaba S, Iio C, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Features and clinical impact of extra-cardiac lesions with 18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography in patients with suspected cardiac sarcoidosis.	Int J Cardiol Heart Vasc 2020; 30: 100587.	Original Article
109	Saito M, Imai M, Wake D, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Semiquantitative assessment of the relative apical sparing pattern of longitudinal strain for cardiac amyloidosis identification.	Echocardiography 2020; 37: 1422-1429.	Original Article
110	Saito M, Imai M, Wake D, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Prognostic assessment of relative apical sparing pattern of longitudinal strain for severe aortic valve stenosis.	Int J Cardiol Heart Vasc 2020; 29: 100551.	Original Article
111	Kono T, Uetani T, Inoue K, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Diagnostic accuracy of stress myocardial computed tomography perfusion imaging to detect myocardial ischemia: a comparison with coronary flow velocity reserve derived from transthoracic Doppler echocardiography.	J Cardiol 2020; 76: 251-258.	Original Article
112	Omiya S, Omori Y, Taneike M, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Cytokine mRNA Degradation in Cardiomyocytes Restrains Sterile Inflammation in Pressure-Overloaded Hearts.	Circulation. 2020;141(8):667-677.	Original Article
113	Nakamura M, Kido T, Hirai K, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	What is the mid-wall linear high intensity "lesion" on cardiovascular magnetic resonance late gadolinium enhancement?	J Cardiovasc Magn Reson. 2020;22(1):66.	Original Article

小計17件

114	Higaki A, Uetani T, Ikeda S, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Co-authorship network analysis in cardiovascular research utilizing machine learning (2009–2019).	Int J Med Inform. 2020; 143: 104274.	Original Article
115	Kouchi T, Tanabe Y, Smit EJ, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Clinical application of four-dimensional noise reduction filtering with a similarity algorithm in dynamic myocardial computed tomography perfusion imaging.	Int J Cardiovasc Imaging. 2020; 36: 1781–1789.	Original Article
116	Tanabe Y, Kido T, Kurata A, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Combined assessment of subtended myocardial volume and myocardial blood flow for diagnosis of obstructive coronary artery disease using cardiac computed tomography: A feasibility study.	J Cardiol. 2020; 76: 259–265.	Original Article
117	Warisawa T, Cook CM, Seligman H, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Per-Vessel Level Analysis of Fractional Flow Reserve and Instantaneous Wave-Free Ratio Discordance – Insights From the AJIP Registry.	Circ J. 2020; 84: 1034–1038.	Original Article
118	Kawasaki T, Kidoh M, Kido T, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Evaluation of Significant Coronary Artery Disease Based on CT Fractional Flow Reserve and Plaque Characteristics Using Random Forest Analysis in Machine Learning.	Acad Radiol. 2020; 10: S1076–6332 (20) 30001–5.	Original Article
119	Kuwahara N, Tanabe Y, Kido T, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Coronary artery stenosis-related perfusion ratio using dynamic computed tomography myocardial perfusion imaging: a pilot for identification of hemodynamically significant coronary artery disease.	Cardiovasc Interv Ther. 2020; 35: 327–335.	Original Article
120	Okuyama M, Jiang W, Javidan A, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Lysyl Oxidase Inhibition Ablates Sexual Dimorphism of Abdominal Aortic Aneurysm Formation in Mice.	Circulation. 2020 Nov 17;142 (20): 1993–1995.	Original Article
121	Sakae T, Hamaguchi M, Aono J, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Valve Interstitial Cell-Specific Cyclooxygenase-1 Associated With Calcification of Aortic Valves.	Ann Thorac Surg. 2020 Jul;110 (1): 40–49.	Original Article
122	Reck M, Wehler T, Orlandi F, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Safety and Patient-Reported Outcomes of Atezolizumab Plus Chemotherapy With or Without Bevacizumab Versus Bevacizumab Plus Chemotherapy in Non-Small-Cell Lung Cancer	J Clin Oncol. 2020 ;38(22):2530–2542.	Original Article
123	Matsui R, Suzuki K, Takiguchi T, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	5-Hydroxytryptamine-3 receptor antagonist and dexamethasone as prophylaxis for chemotherapy-induced nausea and vomiting during moderately emetic chemotherapy for solid tumors: a multicenter, prospective, observational study	BMC Pharmacol Toxicol. 2020 ; 21(1):72.	Original Article
124	Saka H, Nishio M, Hida T, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Five-year follow-up results from phase II studies of nivolumab in Japanese patients with previously treated advanced non-small cell lung cancer: pooled analysis of the ONO-4538-05 and ONO-4538-06 studies	Jpn J Clin Oncol. 2020 ; hyaa157.	Original Article
125	Creelan BC, Yeh TC, Kim SW, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	A Phase 1 study of gefitinib combined with durvalumab in EGFR TKI-naïve patients with EGFR mutation-positive locally advanced/metastatic non-small-cell lung cancer	Br J Cancer. 2020 ; 10.1038/s41416-020-01099-7.	Original Article
126	Nakahara Y, Shimokawa T, Misumi Y, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Phase I/II study of erlotinib plus S-1 for patients with previously treated non-small cell lung cancer: Thoracic Oncology Research Group (TORG) 0808/0913	Invest New Drugs. 2020 ; 10.1007/s10637-020-00985-4.	Original Article
127	Nakata E, Sugihara S, Sugawara Y, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Early response of bone metastases can predict tumor response in patients with non-small-cell lung cancer with bone metastases in the treatment with nivolumab	Oncol Lett. 2020 ;20(3):2977–2986.	Original Article
128	Seto T, Hayashi H, Satouchi M, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Lorlatinib in previously treated anaplastic lymphoma kinase-rearranged non-small cell lung cancer: Japanese subgroup analysis of a global study	Cancer Sci. 2020 ;111(10):3726–3738.	Original Article
129	Kozuki T, Nogami N, Hataji O, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Open-label, multicenter, randomized phase II study on docetaxel plus bevacizumab or pemetrexed plus bevacizumab for treatment of elderly (aged ≥75 years) patients with previously untreated advanced non-squamous	Transl Lung Cancer Res. 2020 ;9(3):459–470.	Original Article

小計16件

130	Zenke Y, Niho S, Umemura S, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Phase I/II study of carboplatin plus weekly nab-paclitaxel in patients aged ≥ 75 years with squamous-cell lung cancer: TORG1322	Lung Cancer. 2020 ;146:182-188.	Original Article
131	Nishio M, Kato T, Niho S, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Safety and efficacy of first-line dacomitinib in Japanese patients with advanced non-small cell lung cancer	Cancer Sci. 2020;111(5):1724-1738.	Original Article
132	Miyoshi S, Katayama H, Matsubara M, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Prediction of Spirometric Indices Using Forced Oscillometric Indices in Patients with Asthma, COPD, and Interstitial Lung Disease.	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2020;15:1565-1575.	Original Article
133	Ohashi K, Ninomiya K, Yoshioka H, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Impact of HER2 expression on EGFR-TKI treatment outcomes in lung tumors harboring EGFR mutations: A HER2-CS study subset analysis.	Lung Cancer. 2020;150:83-89.	Original Article
134	Kinugawa K, Nishimura T, Toda K, et al.	心臓血管・呼吸器外科学	The second official report from Japanese registry for mechanical assisted circulatory support (J-MACS): first results of bridge to bridge strategy.	General Thoracic and Cardiovascular Surgery. 2020 Feb;68(2):102-111. doi: 10.1007/s11748-019-01227-y. Epub 2019 Oct 23.	Original Article
135	Hirahara N, Miyata H, Motomura N, et al.	心臓血管・呼吸器外科学	Procedure-and Hospital-Level Variation of Deep Sternal Wound Infection From All-Japan Registry	The Annals of Thoracic Surgery. 2020 Feb;109(2): 547-554. doi: 10.1016/j.athoracsur.2019.05.076 . Epub 2019 Jul 20.	Original Article
136	Ota N, Tachibana T, Asai H, et al.	心臓血管・呼吸器外科学	Outcomes of bidirectional cavopulmonary shunt in patients younger than 4 months of age	European Journal of Cardio-Thoracic Surgery. 2020 May 1;57(5):937-944. doi: 10.1093/ejcts/ezz373.	Original Article
137	Choshi H, Watanabe M, Ujiike H, et al.	心臓血管・呼吸器外科学	Resected case of stage IV pleomorphic carcinoma of the lung with long-term survival	Surgical Case Reports. 2020 May 24;6(1):106. doi: 10.1186/s40792-020-00868-z.	Original Article
138	Nakao Y, Aono J, Namiguchi K, et al.	心臓血管・呼吸器外科学	Usefulness of contrast computed tomography for diagnosing left ventricular thrombus before impella insertion	Journal of Cardiology Cases. 2020 Dec; 22(6): 291-293. doi: 10.1016/j.jccase.2020.07.016	Original Article
139	Nishihara E, Okada M, Kiyoi T, et al.	耳鼻咽喉科学	Evaluation of the structure of the otoconial layer using micro-computed tomography	Auris Nasus Larynx47:734-739,2020	Original Article
140	Joko T, Yamada H, Kimura T, et al.	耳鼻咽喉科学	Non-recovery animal model of severe facial paralysis induced by freezing the facial canal	Auris Nasus Larynx47:778-784,2020	Original Article
141	Inoue A, Kohno S, Nishida N, et al.	耳鼻咽喉科学	Clinical utility of new three-dimensional model using a zero-echo-time sequence in endoscopic endonasal transsphenoidal surgery	Clin Neurol Neurosurg.190:105743-105743,2020	Original Article
142	Hara K, Okada M, Takagi D, et al.	耳鼻咽喉科学	Association between hypertension, dyslipidemia, and diabetes and prevalence of hearing impairment in Japan.	Hypertension Research43:963-968,2020	Original Article
143	Iwata S, Okada M, Suemori K, et al.	耳鼻咽喉科学	The hearing prognosis of otitis media with ANCA-associated vasculitis	Auris Nasus Larynx2020	Original Article
144	Okada M, Quinkert A, Franck KH, et al.	耳鼻咽喉科学	The natural progression of low-frequency hearing loss in patients who meet hybrid implant system candidacy criteria.	Laryngoscope130:1299-1303,2020	Original Article
145	Okada M, Welling DB, Liberman MC, et al.	耳鼻咽喉科学	Chronic Conductive Hearing Loss Is Associated With Speech Intelligibility Deficits in Patients With Normal Bone Conduction Thresholds.	Ear Hear41(3): 500-507, 2020	Original Article
146	Sato E, Mitani S, Nishio N, et al.	耳鼻咽喉科学	Development of proficiency-based knot-tying and suturing curriculum for otolaryngology residents: A pilot study	Auris Nasus Larynx47(2):291-298,2020	Original Article

小計17件

147	Abe Y, Toyama K, Kazurayama M, et al.	耳鼻咽喉科学	Low-Normal Platelets and Decreasing Platelets Are Risk Factors for Hearing Impairment Development	Laryngoscope00:1-9,2020	Original Article
148	Kawakita D, Murase T, Ueda K, et al.	耳鼻咽喉科学	The impact of clinicopathological factors on clinical outcomes in patients with salivary gland adenoid cystic carcinoma: a multi-institutional analysis in Japan	International Journal of Clinical Oncology25(10):1774-1785,2020	Original Article
149	Ueda K, Murase T, Nagao T, et al.	耳鼻咽喉科学	Central pathology review of salivary gland adenoid cystic carcinoma	Head & Neck42(8):1721-1727,2020	Original Article
150	Sanada T, Islam A, Kaminota T, et al.	耳鼻咽喉科学	Elevated exosomal lysyl oxidase like 2 is a potential biomarker for head and neck squamous cell carcinoma	Laryngoscope130(5):327-334,2020	Original Article
151	Fujiuchi T, Miyawaki J, Kidani T, et al.	整形外科科学	Prediction of Soft Tissue Sarcoma from Clinical Characteristics and Laboratory Data	Cancers (Basel). 2020 Mar 13;12(3):679. doi: 10.3390/cancers12030679.	Original Article
152	Imai H, Kamada T	整形外科科学	Outcomes of computer-assisted peri-acetabular osteotomy compared with conventional osteotomy in hip dysplasia	Int Orthop. 2020 Jun;44(6):1055-1061. doi: 10.1007/s00264-020-04578-x. Epub 2020 Apr 28.	Original Article
153	Takeba J, Imai H, Kikuchi S, et al.	整形外科科学	A Simple Method for Positioning the Traction Table during Fixation Surgery for a Displaced Femoral Trochanteric Fracture in a Patient Following Ipsilateral Above-the-knee Amputation: A Case Report	J Orthop Case Rep. 2020 Oct;10(7):76-79. doi: 10.13107/jocr.2020.v10.i07.1926.	Original Article
154	Ueda T, Kakunaga S, Kawai A, et al.	整形外科科学	The role of chemotherapy and radiotherapy in localized extraskeletal osteosarcoma.	Eur J Cancer 125 130-141 2020	Original Article
155	Nakajima K, Kidani T, Miura H	整形外科科学	Molecular profiling of bone remodeling occurring in musculoskeletal tumors.	J Orthop Res. 2020	Original Article
156	Sari Motlagh R, Pradere B, Mori K, et al.	泌尿器科学	Bladder-preserving strategies for Bacillus Calmette-Guerin unresponsive non-muscle invasive bladder cancer; where are we and what will be expected?	Curr Opin Urol. 30(4):584-593	Original Article
157	Tomita Y, Naito S, Sassa N, et al.	泌尿器科学	Sunitinib Versus Sorafenib as Initial Targeted Therapy for mCC-RCC With Favorable/Intermediate Risk: Multicenter Randomized Trial CROSS-J-RCC	Clin Genitourin Cancer. 18(4):e374-385	Original Article
158	Mori K, Miura N, Babjuk M, et al.	泌尿器科学	Low compliance to guidelines in nonmuscle-invasive bladder carcinoma: A systematic review	Urol Oncol. 38(10):774-782	Original Article
159	Mori K, Miura N, Mostafaei H, et al.	泌尿器科学	Prognostic value of preoperative hematologic biomarkers in urothelial carcinoma of the bladder treated with radical cystectomy: a systematic review and meta-analysis	Int J Clin Oncol. 25(8):1459-1474	Original Article
160	Miura N, Pradere B, Mori K, et al.	泌尿器科学	Metastasis-directed therapy and prostate-targeted therapy in oligometastatic prostate cancer: a systematic review	Minerva Urol Nephrol. 72(5):531-542	Original Article
161	Miura N, Mori K, Mostafaei H, et al.	泌尿器科学	Prognostic value of testosterone for the castration-resistant prostate cancer patients: a systematic review and meta-analysis	Int J Clin Oncol. 252(11):1881-1891	Original Article
162	Miura N, Mori K, Mostafaei H, et al.	泌尿器科学	The Prognostic Impact of Intraductal Carcinoma of the Prostate: A Systematic Review and Meta-Analysis	J Urol. 204(5):909-917	Original Article
163	Mostafaei H, Mori K, Quhal F, et al.	泌尿器科学	Nocebo Response in the Pharmacological Management of Overactive Bladder: A Systematic Review and Meta-analysis	Eur Urol Focus.	Original Article

小計17件

164	Mori K, <u>Miura N</u> , Mostafaei H, et al.	泌尿器科学	Sequential therapy of abiraterone and enzalutamide in castration-resistant prostate cancer: a systematic review and meta-analysis	Prostate Cancer Prostatic Dis. 23(4):539-548	Original Article
165	Yoshioka T, Ikenoue T, Hashimoto H, et al.	泌尿器科学	Development and validation of a prediction model for failed shockwave lithotripsy of upper urinary tract calculi using computed tomography information: the S3HoCKwave score	World J Urol. 38(12):3267-3273	Original Article
166	<u>Makita K</u> , Hamamoto Y, <u>Tsuruoka S</u> , et al.	放射線医学	Treatment intensity and control rates in combining external-beam radiotherapy and radioactive iodine therapy for metastatic or recurrent differentiated thyroid cancer.	Int J Clin Oncol. 2020;25(4):691-697.	Original Article
167	<u>Tanabe Y</u> , <u>Kurata A</u> , <u>Matsuda T</u> , et al.	放射線医学	Computed tomographic evaluation of myocardial ischemia.	Jpn J Radiol. 2020 May;38(5):411-433. doi: 10.1007/s11604-020-00922-8. Epub 2020 Feb 5. PMID:32026226; PMCID:	Original Article
168	Hirai K, <u>Kido Te</u> , <u>Kido To</u> , et al.	放射線医学	Feasibility of contrast-enhanced coronary artery magnetic resonance angiography using compressed sensing.	J Cardiovasc Magn Reson. 2020; 22: 15.	Original Article
169	<u>Matsuda M</u> , <u>Kido T</u> , <u>Tsuda T</u> , et al.	放射線医学	Utility of synthetic MRI in predicting the Ki-67 status of oestrogen receptor-positive breast cancer: a feasibility study.	Clin Radiol. 2020 May;75(5):398.e1-398.e8.	Original Article
170	<u>Ryo Ogawa</u> , <u>Tomoyuki Kido</u> , <u>Masashi Nakamura</u> , et al.	放射線医学	Comparison of compressed sensing and conventional coronary magnetic resonance angiography for detection of coronary artery stenosis.	Eur J Radiol. 2020 Aug;129:109124	Original Article
171	Yamanaka S, <u>Miyagawa M</u> , Sugawara Y, et al.	放射線医学	The prognostic significance of whole-body and spleen MTV (metabolic tumor volume) scanning for patients with diffuse large B cell lymphoma.	Int J Clin Oncol. Epub 2020 Oct 23; doi: 10.1007/s10147-020-01807-6.	Original Article
172	Asano S, Murata H, <u>Matsuura M</u> , et al.	眼科学	Validating the efficacy of the binomial pointwise linear regression method to detect glaucoma progression with multicentral database.	Br J Ophthalmol. Apr; 104; 4: 569-574, 2020.	Original Article
173	Asaoka R, Murata H, <u>Matsuura M</u> , et al.	眼科学	Usefulness of data augmentation for visual field trend analyses in patients with glaucoma.	Br J Ophthalmol. Dec; 104(12): 1697-1703, 2020.	Original Article
174	Kamao T, Takahashi N, Zheng X, et al.	眼科学	Changes of Visual Symptoms and Functions in Patients with and without Dry Eye after Lacrimal Passage Obstruction Treatment.	Curr Eye Res. Dec; 45(12): 1590-1597, 2020.	Original Article
175	Sakane Y, Yamaguchi M, <u>Shiraishi A</u> .	眼科学	Corrigendum to "Retrospective Observational Study on Rebamipide Ophthalmic Suspension on Quality of Life of Dry Eye Disease Patients".	J Ophthalmol. Sep 18; 2020: 8486704, 2020.	Original Article
176	Zheng X, Yamada H, <u>Mitani A</u> , et al.	眼科学	Improvement of visual function and ocular and systemic symptoms following blepharoptosis surgery.	Orbit. Apr 15:1-7, 2020.	Original Article
177	Zheng X, Yamada H, Kamao T, et al.	眼科学	Digital Image Analyses of Preoperative Simulation and Postoperative Outcome following Blepharoptosis Surgery.	Plast Reconstr Surg Glob Open. Jun 16; 8(6): e2923, 2020.	Original Article
178	Asaoka R, Murata H, Asano S, et al.	眼科学	The usefulness of the Deep Learning method of variational autoencoder to reduce measurement noise in glaucomatous visual fields.	Sci Rep. May 12; 10(1): 7893, 2020.	Original Article
179	Ogawa H, <u>Nakashiro KI</u> , <u>Tokuzen N</u> , et al.	口腔顎顔面外科学	MicroRNA-361-3p is a potent therapeutic target for oral squamous cell carcinoma.	Cancer Sci. 2020 May;111(5):1645-1651	Original Article
180	Saito M, Fujita Y, <u>Kuribayashi N</u> , et al.	口腔顎顔面外科学	Troglitazone, a Selective Ligand for PPAR γ , Induces Cell-cycle Arrest in Human Oral SCC Cells.	Anticancer Res. 2020 Mar;40(3):1247-1254	Original Article

小計17件

181	Sawatani Y, Komiyama Y, Nakashiro KI, et al.	口腔顎顔面外科学	Paclitaxel Potentiates the Anticancer Effect of Cetuximab by Enhancing Antibody-Dependent Cellular Cytotoxicity on Oral Squamous Cell Carcinoma Cells In Vitro.	Int J Mol Sci. 2020 Aug 31;21(17):6292.	Original Article
182	Shimura M, Nakashiro KI, Sawatani Y, et al.	口腔顎顔面外科学	Whole Exome Sequencing of SMO, BRAF, PTCH1 and GNAS in Odontogenic Diseases.	In Vivo.2020 Nov-Dec;34(6):3233-3240.	Original Article
183	Ishino T, Tachibana M, Baba M, et al.	分子寄生虫学	Observation of morphological changes of female osmiophilic bodies prior to Plasmodium gametocyte egress from erythrocytes	Mol Biochem Parasitol.	Original Article
184	Iriko H, Ishino T, Tachibana M, Omoda A, et al.	分子寄生虫学	Skeleton binding protein 1 (SBP1) of Plasmodium falciparum accumulates in electron-dense material before passing through the parasitophorous vacuole membrane.	Parasitol Int.	Original Article
185	Ishizaki T, Chaiyawong N, Hakimi H, Asada M, et al.	分子寄生虫学	A novel Plasmodium yoelii pseudokinase, PypPK1, is involved in erythrocyte invasion and exflagellation center formation.	Parasitol Int.	Original Article
186	Tachibana M, Baba M, Takashima E, et al.	分子寄生虫学	The C-terminal region of the Plasmodium yoelii microgamete surface antigen PyMiGS induces potent anti-malarial transmission-blocking immunity in mice	Vaccine	Original Article
187	Subudhi A, O'Donnell A, Ramaprasad A, et al.	分子寄生虫学	Malaria parasites regulate intra-erythrocytic development duration via serpentine receptor 10 to coordinate with host rhythms	Nat Commun.	Original Article
188	Zhi-yong Tao*, Juan Dong, Culleton R*	分子寄生虫学	The use of facemasks may not lead to an increase in hand-face contact	Transbound Emerg Dis	Original Article
189	Nozaki M, Baba M, Tachibana M, et al.	分子寄生虫学	Detection of the Rhoptry Neck Protein Complex in Plasmodium Sporozoites and Its Contribution to Sporozoite Invasion of Salivary Glands.	mSphere.	Original Article
190	Adamu A, Jada MS, Haruna HMS, et al.	分子寄生虫学	Plasmodium falciparum Multidrug Resistance Gene-1 N86Y-Y184F-D1246Y Polymorphisms in Northern Nigeria: Implications for the Continued Use of Artemether-Lumefantrine in the Region	Malar J.	Original Article
191	AZ Chin, MCM Maluda, J Jelip, et al.	分子寄生虫学	Malaria elimination in Malaysia and the rising threat of Plasmodium knowlesi	J Physiol Anthropol.	Original Article
192	Tao, Z.Y., Liu, W.P., Dong, J., et al.	分子寄生虫学	Purification of Plasmodium and Babesia-infected erythrocytes using a non-woven fabric filter	Tropical Biomedicine	Original Article
193	Yagi Y, Kuwahara M, Suzuki J, et al.	免疫学・感染病態学	Glycolysis and subsequent mevalonate biosynthesis play an important role in Th2 cell differentiation.	Biochem. Biophys. Res. Commun. (2020) https://doi.org/10.1016/j.bbrc.2020.08.009	Original Article
194	Toriyama K, Kuwahara M, Kondoh H, et al.	免疫学・感染病態学	T cell-specific deletion of Pgam1 reveals a critical role for glycolysis in T cell responses.	Communications Biology 3, Article number: 394 (2020) doi.org/10.1038/s42003-020-01122-w	Original Article
195	Takemori A, Butcher DS, Harman VM, et al.	免疫学・感染病態学	PEPPI-MS: polyacrylamide gel-based prefractionation for analysis of intact proteoforms and protein complexes by mass spectrometry.	J Proteome Res. (2020) doi.org/10.1021/acs.jproteome.0c00303	Original Article
196	Omorí-Miyake M, Watarai H, Sato K, et al.	免疫学・感染病態学	An accumulation of two populations of dendritic cells in skin-draining lymph nodes in response to the expression of thymic stromal lymphopoietin in the skin.	Cellular Immunology 353 (2020) 104116. doi: 10.1016/j.cellimm.2020.104116.	Original Article
197	Kohara Y, Haraguchi R, Kitazawa R, et al.	分子病理学	Knockdown of Lrp1 in RAW264 Cells Inhibits Osteoclast Differentiation and Osteoclast-osteoblast Interactions in vitro	Biochem Biophys Res Commun, 523, 961-965	Original Article

小計17件

198	<u>Kohara Y.</u> , <u>Kitazawa S.</u> , <u>Kitazawa R.</u> , et al.	分子病理学	Localization of DLL1- and NICD-positive Osteoblasts in Cortical Bone during Postnatal Growth in Rats	Biochem Biophys Res Commun, 529, 186-190	Original Article
199	<u>Haraguchi R.</u> , <u>Kohara Y.</u> , <u>Matsubayashi K.</u> et al.	分子病理学	New Insights into the Pathogenesis of Diabetic Nephropathy: Proximal Renal Tubules Are Primary Target of Oxidative Stress in Diabetic Kidney	Acta Histochem Cytochem, 53, 21-31	Original Article
200	Hamatani M, Yamashita H, Ochi H, et al.	分子病理学	Altered features of monocytes in adult onset leukoencephalopathy with axonal spheroids and pigmented glia: A clue to the pathomechanism of microglial dyshomeostasis.	Neurobiol Dis. doi: 10.1016/j.nbd.2020.104867. Epub 2020 Apr 7.	Original Article
201	<u>Naoe Kaneko.</u> , <u>Mie Kurata.</u> , <u>Toshihiro Yamamoto.</u> et al.	解析病理学	KN3014, a piperidine-containing small compound, inhibits auto-secretion of IL-1 beta from PBMCs in a patient with Muckle-Wells syndrome	Sci Rep, 2020; 11:13562 DOI:10.1038/s41598-020-70513-0	Original Article
202	Sho Mokuda, Tadahiro Tokunaga, <u>Junya</u> <u>Masumoto.</u> et al.	解析病理学	Angiotensin-converting Enzyme 2, a SARS-CoV-2 receptor, Is Upregulated by Interleukin 6 through STAT3 Signaling in Synovial Tissues	J Rheumatol. ., 2020 ; : DOI:10.3899/jrheum.200547	Original Article
203	Megumi Matsuda, Takaharu Tsuda, Rui Ebihara, et al.	解析病理学	Enhanced Masses on Contrast-Enhanced Breast: Differentiation Using a Combination of Dynamic Contrast-Enhanced MRI and Quantitative Evaluation with Synthetic MRI Enhanced Masses on Contrast-Enhanced	J Magn Reson Imaging., 2020; : DOI:10.1002/jmri.27362	Original Article
204	<u>Mivaue N.</u> , <u>Yabe H.</u> , <u>Nagai M.</u>	臨床薬理学	Serum growth differentiation factor 15, but not lactate, is elevated in patients with Parkinson's disease.	J Neurol Sci. 2020 Feb 15; 409:116616.	Original Article
205	<u>Iwaki H.</u> , <u>Ando R.</u> , <u>Tada S.</u> et al.	臨床薬理学	A double-blind, randomized controlled trial of duloxetine for pain in Parkinson's disease.	J Neurol Sci. 2020; 414:116833.	Original Article
206	<u>Mivaue N.</u> , <u>Yabe H.</u> , <u>Nagai M.</u> et al.	臨床薬理学	Abnormal upper gastrointestinal structures underlying levodopa malabsorption.	J Neurol Sci. 2020; 414:116855.	Original Article
207	<u>Nagai M.</u> , <u>Kubo M.</u> , <u>Ando R.</u> , et al.	臨床薬理学	Comparative examination of levodopa pharmacokinetics during simultaneous administration with lactoferrin in healthy subjects and the relationship between lipids and COMT inhibitory activity in vitro.	Nutr Neurosci. 2020 May 22; 1-10.	Original Article
208	Kodama D, Tanaka M, Matsuzaki T, et al.	臨床薬理学	Inhibition of ABL1 tyrosine kinase reduces HTLV-1 proviral loads in peripheral blood mononuclear cells from patients with HTLV-1-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis.	PLOS Negl Trop Dis. 2020 Jul 15; 14(7):e0008361.	Original Article
209	<u>Satoshi Kikuchi.</u> , <u>Giovanna Piraino.</u> , <u>Michael O'Connor.</u> et al.	消化器・腫瘍外科	Hepatocyte-Specific Deletion of AMPK α 1 Results in Worse Outcomes in Mice Subjected to Sepsis in a Sex-Specific Manner	Frontiers in Immunology February 2020 Volume 11 Article 210	Original Article
210	<u>Yokovama M.</u> , Saito I, Ueno M, et al.	産婦人科学	Low birthweight is associated with type 2 diabetes mellitus in Japanese adults: The Toon Health Study	J Diabetes Investigation. 11:1643-1650, 2020	Original Article
211	<u>Usami T.</u> , <u>Yokovama M.</u> , <u>Ueno M.</u> , et al.	産婦人科学	Comparison of pregnancy outcomes between women with early-onset and late-onset gestational diabetes in a retrospective multi-institutional study in Japan.	J Diabetes Investig. 11:216-222, 2020	Original Article
212	Iwama N, <u>Sugiyama T.</u> , Metoki H, et al.	産婦人科学	Associations between glycosylated hemoglobin level at less than 24 weeks of gestation and adverse pregnancy outcomes in Japan: The Japan Environment and Children's Study (JECS)	Diabetes Research and Clinical Practice 169:108377, 2020 DOI: 10.1016/j.diabres.2020.108377 1	Original Article
213	Kotani H, Koshizuka T, <u>Matsubara K.</u> et al.	産婦人科学	Relationship between Human beta-defensin 2 and the vaginal environment	Jpn J Infect Dis. 73:214-220, 2020 10.7883/yoken.JJID.2019.190	Original Article
214	Yotsumoto J, Sekizawa A, <u>Inoue S.</u> et al.	産婦人科学	Qualitative investigation of the factors that generate ambivalent feelings in women who give birth after receiving negative results from non-invasive prenatal testing	BMC Pregnancy Childbirth 20(1): 112, 2020	Original Article

小計17件

215	Hasegawa J, Wada S, Kasamatsu A, et al.	産婦人科学	Distribution of PAPP-A and total hCG between 11 and 13 weeks of gestation in Japanese pregnant women	The journal of maternal-fetal & neonatal medicine. 33(12) 2017-2022, 2020	Original Article
216	Takayama E, Tanaka H, Kamimoto Y, et al.	産婦人科学	Relationship between a high Edinburgh Postnatal Depression Scale score and premenstrual syndrome: A prospective, observational study	Taiwan J Obstet Gynecol. 59:356-360, 2020	Original Article
217	Miller DS, Filiaci VL, Mannel RS, et al.	産婦人科学	Carboplatin and Paclitaxel for Advanced Endometrial Cancer: Final Overall Survival and Adverse Event Analysis of a Phase III Trial (NRG Oncology/GOG0209)	J Clin Oncol 38:3841-3850, 2020	Original Article
218	Ikeda, A., H. Takeyama, C. Bernard, et al.	脳神経外科学	Active direct current (DC) shifts and "Red slow": two new concepts for seizure mechanisms and identification of the epileptogenic zone.	Neurosci Res.	Original Article
219	Inoue, T., K. Kobayashi, R. Matsumoto, et al.	脳神経外科学	Engagement of cortico-cortical and cortico-subcortical networks in a patient with epileptic spasms: An integrated neurophysiological study.	Clin Neurophysiol 131(9): 2255-2264.	Original Article
220	T. Nakae, . R. Matsumoto, T. Kunieda, et al.	脳神経外科学	Connectivity Gradient in the Human Left Inferior Frontal Gyrus: Intraoperative Cortico-Cortical Evoked Potential Study.	Cereb Cortex.	Original Article
221	Nakatani, M. R. Matsumoto, K. Kobayashi, et al.	脳神経外科学	Electrical cortical stimulations modulate spike and post-spike slow-related high-frequency activities in human epileptic foci.	Clin Neurophysiol 131(8): 1741-1754.	Original Article
222	Namiki, T., I. Tsuda, S. Tadokoro, et al.	脳神経外科学	Mathematical structures for epilepsy: High-frequency oscillation and interictal epileptic slow (red slow).	Neurosci Res 156: 178-187.	Original Article
223	Shibata, S., Y. Yamao, T. Kunieda, et al.	脳神経外科学	Intraoperative electrophysiological mapping of medial frontal motor areas and functional outcomes.	World Neurosurg.	Original Article
224	Inoue A, Kohno S, Ohnishi T, et al.	脳神経外科学	Ticks and traps of ICG endoscopy for effectively applying endoscopic transsphenoidal surgery to pituitary adenoma.	Neurosurg Rev. 2020 Sep 5. Doi:10.1007/s10143-020-01382-4	Original Article
225	Inoue A, Ohnishi T, Kohno S, et al.	脳神経外科学	Met-PET uptake index for total tumor resection: identification of 11C-methionine uptake index as a goal for total tumor resection including infiltrating tumor cells in glioblastoma.	Neurosurg Rev. 2020 Feb 15. Doi:10.1007/s10143-020-01258-7	Original Article
226	Kumon Y, Watanabe H, Tagawa M, et al.	脳神経外科学	Relationship between deep white matter hyperintensities on magnetic resonance imaging and postoperative cognitive function following clipping of unruptured intracranial aneurysm.	Neuro Med Chir (Tokyo). 2020 Dec 30. Doi: 10.2176/nmc.0a.2020-0290	Original Article
227	Igase M, Okada Y, Igase K, et al.	脳神経外科学	Casein Hydrolysate Containing Milk-Derived Peptides Reduces Facial Pigmentation Partly by Decreasing Advanced Glycation End Products in the Skin: A Randomized Double-Blind Placebo-Controlled Trial.	Rejuvenation Res. 2020 Sep 22. Online ahead of print.	Original Article
228	Krishna V, Sammartino F, Cosgrove R, et al.	脳神経外科学	Predictors of Outcomes After Focused Ultrasound Thalamotomy.	Neurosurgery 87: 229-237, 2020	Original Article
229	anamori M, Takami H, Yamaguchi S, et al.	脳神経外科学	So-called "bifocal tumors" with diabetes insipidus and negative tumor markers: Are they all germinoma?	Neuro Oncol, 20 2020	Original Article
230	Achiha T, Kijima N, Kodama Y, et al.	脳神経外科学	Activated leukocyte cell adhesion molecule expression correlates with the WNT subgroup in medulloblastoma and is involved in regulating tumor cell proliferation and invasion	PLoS One, 15 2020	Original Article
231	Yamashita D, Minata M, Ibrahim A, et al.	脳神経外科学	Identification of ALDH1A3 as a viable therapeutic target in breast cancer metastasis-initiating cells	Mol Cancer Ther 19(5): 1134-1147, 2020	Original Article

小計17件

232	Bastola S, Pavlyukov MS, Yamashita D, et al.	脳神経外科学	Glioma-initiating cells at tumor edge gain signals from tumor core cells to promote their malignancy	Nat Commun 11(1): 4660, 2020	Original Article
233	Yasuyuki Suzuki, Shuang Liu, Tomio Ogasawara, et al.	麻酔・周産期学	A novel MRGPRX2-targeting antagonistic DNA aptamer inhibits histamine release and prevents mast cell-mediated anaphylaxis	European Journal of Pharmacology 2020 Jul 5;878:173104. doi: 10.1016/j.ejphar.2020.173104. Epub 2020 Apr 19.	Original Article
234	Yasuyuki Suzuki, Shuang Liu, Fumito Kadoya, et al.	麻酔・周産期学	Association between mutated Mas-related G protein-coupled receptor-X2 and rocuronium-induced intraoperative anaphylaxis	British Journal of Anaesthesia 2020 Dec;125(6):e446-e448. doi: 10.1016/j.bja.2020.05.046. Epub 2020 Jul 2.	Original Article
235	Tasuku Nishihara, Junya Tanaka, Keisuke Sekiya, et al.	麻酔・周産期学	Chronic constriction injury of the sciatic nerve in rats causes different activation modes of microglia between the anterior and posterior horns of the spinal cord	Neurochemistry International 2020 Mar;134:104672. doi: 10.1016/j.neuint.2020.104672. Epub 2020 Jan 9.	Original Article
236	Miyake Y, Tanaka K, Okubo H, et al.	疫学・予防医学	Maternal consumption of vegetables, fruit, and antioxidants during pregnancy and risk of childhood behavioral problems.	Nutrition. 69:110572. doi: 10.1016/j.nut.2019.110572.	Original Article
237	Miyake Y, Tanaka K, Senba H, et al.	疫学・予防医学	Hearing impairment and prevalence of mild cognitive impairment in Japan: baseline data from the Aidai Cohort Study in Yawatahama and Uchiko.	Ear Hear. 41(2):254-258. doi: 10.1097/AUD.0000000000000773.	Original Article
238	Kawamoto T, Miyake Y, Tanaka K, et al.	疫学・予防医学	Maternal prenatal stress and infantile wheeze and asthma: the Osaka Maternal and Child Health Study.	Psychosom Res. 135:110143. doi: 10.1016/j.psychores.2020.110143.	Original Article
239	Miyake Y, Tanaka K, Arakawa M.	疫学・予防医学	BAIAP2 rs8079781, postnatal smoking exposure, and emotional problems in Japanese children aged 5 years: the Kyushu Okinawa Maternal and Child Health Study.	J Neural Transm (Vienna). 127(7):1081-1087. doi: 10.1007/s00702-020-02203-0.	Original Article
240	Miyake Y, Tanaka K, Arakawa M.	疫学・予防医学	Associations of job type, income, and education with postpartum depressive symptoms: The Kyushu Okinawa Maternal and Child Health Study.	Psychiatry Res. 291:113224. doi: 10.1016/j.psychres.2020.113224.	Original Article
241	Miyake Y, Tanaka K, Okubo H, et al.	疫学・予防医学	Maternal B vitamin intake during pregnancy and childhood behavioral problems in Japan: the Kyushu Okinawa Maternal and Child Health Study.	Nutr Neurosci. 23(9):706-713. doi: 10.1080/1028415X.2018.1548139.	Original Article
242	Tanaka K, Arakawa M, Miyake Y.	疫学・予防医学	Perinatal smoking exposure and risk of asthma in the first 3 years of life: a prospective prebirth cohort study.	Allergol Immunopathol (Madr). 48(6):530-536. doi: 10.1016/j.aller.2020.03.008.	Original Article
243	Asano M, Yoshioka N, Kuse A, et al.	法医学	Stability of ten psychotropic drugs in formalin-fixed porcine liver homogenates.	Forensic Science International. 2020; 2; 307. 110136, doi: 10.1016/j.forsciint.2019.110136	Original Article
244	Goto T, Kuramoto E, Dhar A, et al.	脳神経内科・老年医学	Neurodegeneration of trigeminal mesencephalic neurons by the tooth loss triggers the progression of Alzheimer's disease in 3xTg-AD model mice.	J Alzheimers Dis 76: 1443-1459.	Original Article
245	Tabara Y, Kohara K, Okada Y, et al.	脳神経内科・老年医学	Creatinine to cystatin C ratio as a marker of bone property in older adults: the J-SHIPP study.	J Nutr Health Aging 24: 277-281.	Original Article
246	Imamura T, Yanagihara YT, Ohvagi Y, et al.	脳神経内科・老年医学	Insulin deficiency promotes formation of toxic amyloid-β 42 conformer co-aggregating with hyper-phosphorylated tau oligomer in an Alzheimer's disease model.	Neurobiol Dis 137: 104739.	Original Article
247	Tabara Y, Kohara K, Okada Y, et al.	脳神経内科・老年医学	Creatinine-to-cystatin C ratio as a marker of skeletal muscle mass in older adults: J-SHIPP study.	Clin Nutr 39: 1857-1862.	Original Article
248	Spracklen CN, Horikoshi M, Kim YJ, et al.	脳神経内科・老年医学	Identification of type 2 diabetes loci in 433,540 East Asian individuals.	Nature 582: 240-245.	Original Article

249	Ohta Y, Kamide K, Hanada H, et al.	脳神経内科・老年医学	Genetic factors associated with elevation of uric acid after treatment with thiazide-like diuretic in patients with essential hypertension.	Hypertens Res 43: 220-226.	Original Article
250	Miura S, Kosaka K, Shimojo T, et al.	脳神経内科・老年医学	Intronic variant in IQGAP3 associated with hereditary neuropathy with proximal lower dominancy, urinary disturbance, and paroxysmal dry cough.	J HumGenet 65: 717-725.	Original Article
251	Akase T, Kawamoto R, Ninomiya D, et al.	地域医療学	Neutrophil-to-lymphocyte ratio is a predictor of renal dysfunction in Japanese patients with type 2 diabetes.	Diabetes & metabolic syndrome 14(4): 481 - 487, 2020.	Original Article
252	Kawamoto R, Ninomiya D, Akase T, et al.	地域医療学	Interactive association of baseline and changes in serum uric acid on renal dysfunction among community-dwelling persons.	Journal of clinical laboratory analysis 34(5): e23166, 2020.	Original Article
253	Kawamoto R, Ninomiya D, Akase T, et al.	地域医療学	The effect of short-term exposure to rural interprofessional work on medical students.	International journal of medical education 11: 136 - 137, 2020.	Original Article
254	Kawamoto R, Kikuchi A, Akase T, et al.	地域医療学	Increased body mass index above the upper normal limit is significantly associated with renal dysfunction among community-dwelling persons.	International urology and nephrology 52(8): 1533 - 1541, 2020.	Original Article
255	Kawamoto R, Kikuchi A, Akase T, et al.	地域医療学	Usefulness of waist-to-height ratio in screening incident hypertension among Japanese community-dwelling middle-aged and elderly individuals.	Clinical hypertension 26: 9, 2020.	Original Article
256	Kawamoto R, Ninomiya D, Akase T, et al.	地域医療学	High serum uric acid within the normal range is a useful predictor of hypertension among Japanese community-dwelling elderly women.	Clinical hypertension 26: 20, 2020.	Original Article
257	Michitaka K, Hiraoka A, Ninomiya T, et al.	地域医療学	The effect of the hepatitis B vaccine derived from genotype C on infants born to mothers infected with genotype D.	Intern Med 59: 2825-2830, 2020.	Original Article
258	Konishi K, Miyake T, Furukawa S, et al.	地域医療学	Advanced fibrosis of non-alcoholic steatohepatitis affects the significance of lipoprotein(a) as a cardiovascular risk factor.	Atherosclerosis 299: 32-37, 2020.	Original Article
259	Watanabe T, Tokumoto Y, Joko K, et al.	地域医療学	Sex difference in the development of hepatocellular carcinoma after direct-acting antiviral therapy in patients with HCV infection.	J Med Virol 2020. (online ahead of print)	Original Article
260	Hirooka M, Koizumi Y, Tanaka T, et al.	地域医療学	Efficacy of combining electric-field and coronal-plane imaging to obtain ultrasound-ultrasound fusion images in monopolar radiofrequency ablation for patients with liver cancer.	Hepatol Res 50: 985-995, 2020.	Original Article
261	Hirooka M, Koizumi Y, Tanaka T, et al.	地域医療学	Treatment on the spleen prevents the progression of secondary sarcopenia in patients with liver cirrhosis.	Hepatol Commun 4: 1812-1823, 2020.	Original Article
262	Yamada K, Ito YM, Akagi M, et al.	地域医療再生学	Reference values for the locomotive syndrome risk test quantifying mobility of 8681 adults aged 20-89 years: A cross-sectional nationwide study in Japan.	J Orthop Sci.2020 Nov;25(6):1084-1092.	Original Article
263	Sueda S, Sakaue T, Okura T.	地域救急医療学	Sequential Spasm Provocation Tests under Medications Are Indispensable in Patients with Aborted Sudden Cardiac Death due to Coronary Spasm.	Intern Med. 2020 Sep 1;59(17):2211-2212.	Original Article
264	Sueda S, Sakaue T, Okura T.	地域救急医療学	Spasm Provocation Tests under Medication May Help Decide on Medical or Mechanical Therapy in Patients with Aborted Sudden Cardiac Death due to Coronary Spasm.	Intern Med. 2020 Jun 1;59(11):1351-1359.	Original Article
265	Sueda S, Shinohara T, Takahashi N, et al.	地域救急医療学	Questionnaire in patients with aborted sudden cardiac death due to coronary spasm in Japan.	Heart Vessels. 2020 Dec;35(12):1640-1649.	Original Article

266	Umakoshi K, Choudhury ME, Nishioka R, et al.	地域救急医療学	B lymphocytopenia and Bregs in a not-to-die murine sepsis model.	Biochem Biophys Res Commun. 523(1):202-207	Original Article
267	Hiraoka A, Nagamatsu K, Izumoto H, et al.	地域生活習慣病・内分泌学	Zinc deficiency as an independent prognostic factor for patients with early hepatocellular carcinoma due to hepatitis virus	Hepatol Res 50: 92-100, 2020	Original Article
268	Hiraoka A, Nagamatsu K, Izumoto H, et al.	地域生活習慣病・内分泌学	SARC-F combined with simple tool for assessment of muscle abnormalities in outpatients with chronic liver disease	Hepatol Res 50: 502-511, 2020	Original Article
269	Furukawa S, Yagi S, Shiraishi K, et al.	地域消化器免疫医療学	Association between platelet count and mucosal healing in Japanese patients with ulcerative colitis: a cross-sectional study.	BMC Gastroenterol. 2020 Nov 16;20(1):384. doi: 10.1186/s12876-020-01538-y.	Original Article
270	Hato T, Shimada N, Kurata Y, et al.	輸血・細胞治療部	Risk factors for skin, mucosal, and organ bleeding in adults with primary ITP: a nationwide study in Japan.	Blood Adv. 4(8): 1648-1655	Original Article
271	Kanda Y, Kimura SI, Iino M, et al.	輸血・細胞治療部	D-index-guided early antifungal therapy versus empiric antifungal therapy for persistent febrile neutropenia: a randomized controlled noninferiority trial.	J Clin Oncol. 38(8): 815-822	Original Article
272	Kimura SI, Kanda Y, Iino M, et al.	輸血・細胞治療部	Efficacy and safety of micafungin in empiric and D-index-guided early antifungal therapy for febrile neutropenia; a subgroup analysis of the CEDMIC trial.	Int J Infect Dis. 100: 292-297	Original Article
273	Noriaki Hidaka, Yuichi Kaji, Shingo Takatori, et al.	医療薬学・薬剤部	Risk Factors for Acetaminophen-induced Liver Injury: A Single-center Study from Japan	Clin Ther. 42(4), 704-710(2020)	Original Article
274	Tanaka Y, Kumagi T, Terao T, et al.	総合臨床研修センター	ABO blood type and the long-term outcomes of pancreatic cancer.	Intern Med. 59: 761-768, 2020.	Original Article
275	Kawamoto R, Kikuchi A, Akase T, et al.	総合臨床研修センター	Usefulness of waist-to-height ratio in screening incident hypertension among Japanese community-dwelling middle-aged and elderly individuals.	Clin Hypertens. 2020;26:9.	Original Article
276	Iio H, Kikugawa T, Sawada Y, et al.	学術支援センター動物実験部門	DNA maintenance methylation enzyme Dnmt1 in satellite cells is essential for muscle regeneration	Biochemical and Biophysical Research Communications. 2021; 534, 79e8580 (doi: 10.1016/j.bbrc.2020.11.116)	Original Article
277	Li-Juan Min, Jun Iwanami, Masachika Shudou, et al.	学術支援センター・病態機能解析部門	Deterioration of cognitive function after transient cerebral ischemia with amyloid-beta infusion-possible amelioration of cognitive function by AT 2 receptor activation	Journal of Neuroinflammation ; 2020 Apr 7;17(1):106. doi: 10.1186/s12974-020-01775-8.	Original Article
278	Megumi Yamamoto, Rie Yanagisawa, Atsushi Sakai, et al.	学術支援センター・病態機能解析部門	Toxicokinetics of methylmercury in diabetic KK-Ay mice and C57BL/6 mice	Journal of applied toxicology ;2021 Jun;41(6):928-940. doi: 10.1002/jat.4078. Epub 2020 Oct 5.	Original Article
279	Ryoko M Uda, Nao Yoshida, Tomoyuki Iwasaki, et al.	学術支援センター・病態機能解析部門	pH-triggered solubility and cytotoxicity changes of malachite green derivatives incorporated in liposomes for killing cancer cells.	Journal of materials chemistry. B 8(36) 8242 - 8248	Original Article
280	Kimura Y, Sumiyoshi M, Kiyoi T, et al.	学術支援センター・病態機能解析部門	Dihydroxystilbenes prevent azoxymethane/dextran sulfate sodium-induced colon cancer by inhibiting colon cytokines, a chemokine, and programmed cell death-1 in C57BL/6J mice.	European Journal of Pharmacology. 886: 173445, 2020.	Original Article

小計15件

合計280件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院におけ る所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

計 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 研究者等の責務等、病院長の責務等、倫理審査委員会、研究の適正な実施等、研究の信頼性確保、重篤な有害事象への対応に関する手順、個人情報等、研究実施に関する窓口	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 利益相反管理の対象、利益相反委員会、利益相反相談室、自己申告書の提出等の手続き	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年1回
・ 研修の主な内容 「倫理審査委員会の必要性と倫理審査委員の役割」	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

第一内科 【血液内科】 【膠原病・リウマチ内科】 【感染症内科】

第一内科の専門領域は、血液、膠原病・リウマチ、感染症である。カンファレンスやセミナーを頻回に開催し、内科学会総合内科専門医、血液学会専門医、リウマチ学会専門医、感染症学会専門医を取得できるように、研修・指導を行っている。また、最近社会的ニーズが非常に高い臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医の育成にも努力している。

第二内科 【循環器内科】 【呼吸器内科】 【腎臓内科】

当科に所属する日本内科学会総合内科専門医、日本循環学会専門医、日本呼吸器学会専門医、日本腎臓専門医、日本老年病専門医、日本臨床遺伝専門医、日本アレルギー学会専門医、日本不整脈学会専門医、日本高血圧学会専門医が血管機能解析、腎生検、血液浄化療法、肺癌化学療法、経気管支鏡的肺生検・吸引針生検、冠動脈形成術、心臓再同期療法、心筋焼灼療法等の高度医療を指導し、専門医の育成を行った。

第三内科 【消化器内科】 【肝臓内科】 【内分泌代謝内科】

この領域は、第三内科が研修を担当する。消化器病として消化管・肝・胆・膵領域、甲状腺・副腎皮質などの内分泌領域、糖尿病をはじめとする糖代謝、脂質代謝、尿酸代謝、金属代謝などの代謝領域、および栄養学の研修を指導した。研修では各々の領域の患者に対して先端的な診療、検査に触れるとともに、カンファレンスを通して理解を深め、目標を持ち自律的意欲的に研修、習得する医師の養成を目指している。当科のスタッフは日本内科学会指導医、日本消化器病学会指導医、日本肝臓学会指導医、日本超音波学会指導医、日本消化器内視鏡学会指導医、日本糖尿病学会指導医、日本内分泌学会指導医、日本アレルギー学会指導医、日本病態栄養学会専門医、NST稼働施設責任者等の各種指導資格を有しており、各領域の専門研修による専門医の育成とともに、内科を幅広く柔軟に診療できる内科医の育成を目指して研修・指導を行っている。

脳神経内科 【老年・神経内科】

神経内科、老年病、脳卒中、認知症などの専門医が、神経疾患、脳卒中や認知症の診療を教育した。入院診療では、免疫性神経疾患や変性疾患などを主体として、神経学的診察、末梢神経・中枢神経の電気生理検査、針筋電図や超音波検査(頸部血管、経頭蓋、経食道)などの専門手技の研修を行った。また、認知症診療では、愛媛県認知症疾患医療センターやもの忘れ外来診療を中心に、薬物治療や介護保険の利用法、その他の社会支援制度利用や生活指導の方法などの教育を行った。

糖尿病内科・臨床検査医学 【糖尿病内科】

糖尿病専門医・指導医、内科専門医・指導医による専門的かつ総合的な研修を実施した。具体的には、1型糖尿病の診断・管理、急性代謝異常の診断・管理、2型糖尿病の診断・管理、その他特定の型(2次性)糖尿病の診断・管理、糖尿病合併妊娠及び妊娠糖尿病の診断・管理、周術期の血糖管理、持続皮下インスリン注入療法(CSII)を用いた血糖管理、持続血糖測定(CG M)を用いた血糖管理、ならびに糖尿病合併症の診断・治療・管理・予防教育を行った。

臨床薬理神経内科 【薬物療法・神経内科】

脳神経疾患の診断・治療・教育研修とともに、特に難治性神経疾患の治療薬の研究・開発・研修を行った。また、臨床研究に必要な手法の研究開発と基盤整備、および法務上必要な研修、指導を行った。研修後に総合内科専門医、神経内科専門医、認知症専門医、頭痛専門医、臨床薬理専門医を取得している。

【精神科】

大学病院及び関連病院にて研修を行っている。後期研修以降は、それぞれのサブスペシャリティを決定し、その分野で研鑽をつみ、精神科医としての技能や知識を習得する。また、下記の項目にも重点をおく。

1. 児童思春期、青年期、老年期のそれぞれの年代の症例、また器質性、機能性、反応性の各精神障害の症例すべての臨床経験を獲得するよう主治医としてかかわる。
2. 臨床研究として、学会発表を行う。
3. 国内・国際学会、教室内外の勉強会に参加する。
4. クロザピン投与、修正型電気けいれん療法、光トポグラフィーなど極めて専門性の高い検査・治療に携わる。

また、臨床経験5年後には、精神保健指定医を取得し、日本精神神経学会専門医の獲得ができるよう環境を整えている。

【小児科】

後期研修1年目より専門医の取得を目指し小児の各分野の高度医療を実践する。特に新生児の管理・治療、小児がんの造血細胞移植などの高度医療、循環器疾患のインターベンション治療を含めた高度医療、難治性神経疾患の治療、遺伝性疾患の遺伝カウンセリングなどの他、感染症、内分泌・代謝、アレルギー、腎、膠原病などの幅広い小児科の分野の研修を行っている。また研修期間中は予防接種、健診などの予防医療についても研修を行っている。

消化器腫瘍外科 【消化器腫瘍外科】

消化器（主に消化管）癌に対する外科的治療（開腹、内視鏡、ロボット支援手術）を系統的に学び、更に化学療法、放射線治療などの集学的治療による治療戦略を学ぶことができる臨床研修を行う。外科専門医のみならず内視鏡外科技術認定医を目指した高度な手術技術を指導する。ドライラボ、アニマルラボ、シミュレータ、カダバーによる習熟度に応じた手術指導も定期的開催し、スキルアップを図る体制を用意している。

肝胆膵・移植外科【肝臓外科】【胆のう外科】【膵臓外科】【乳腺外科】【移植外科】

肝臓、胆のう、膵臓疾患について、画像診断から治療方針の決定、外科治療など消化器外科専門医並びに消化器病専門医及び肝胆膵外科高度専門医を取得できるように、研修、指導を行った。

心臓血管・呼吸器外科 【心臓血管外科】【呼吸器外科】

1 心臓血管外科におきましては、外科専門医、心臓血管外科専門医の資格の取得に必要な、経験、技術、知識、人間性を習得することを目標としています。将来、専門医として社会貢献できる医師を目指す研修を行った。

2 呼吸器外科におきましては、外科専門医、呼吸器外科専門医の取得が可能です。呼吸器外科疾患の適切な診断能力と治療方針はもちろん、呼吸器センターの一員として、あらゆる状況において応用可能な能力を身につける研修を行った。

【脳神経外科】

日本脳神経外科学会研修プログラムに則って、研修指導医の下で、脳神経外科の診断と治療に必要な知識と基本的技術を習得させるため、基本診療科の一つとして、愛媛大学と関連連携施設で研修をすすめる。当施設では脳卒中センター、脊椎センター、手術手技研修センターにおいて、脳卒中の急性期治療（脳血管内治療を含む）、脊椎・脊髄疾患の診療、手術に必要な微小解剖のトレーニングを中心としている。脳腫瘍・脳血管疾患、脊椎。脊髄の主要な疾患の他に、小児脳神経外科、機能神経外科、感染症などの田崎な疾患群全てを研修可能である。それによって、脳神経外科専門医取得にあたっての、十分な臨床経験を積める環境が整っている。

【整形外科】

運動器疾患全般に関して、科学的知識と高い社会的倫理観を備えた医師を養成すべく、進歩する医学知識と最新の医療技術を研鑽させた。特に以下の3点に重点を置いた教育を行った。

- 1, 高齢者のQOLを支える医療
- 2, エビデンスに基づく幅広い治療方針
- 3, 水準の高い治療で早期の社会復帰をサポート

さらに、整形外科専門医習得に必要な臨床症例の経験と論文作成・学術発表の指導も行った。

皮膚科、形成外科 【皮膚科】 【形成外科】

皮膚科学会、形成外科学会の研修施設認定を受けている。

皮膚科では湿疹や感染症などの日常的疾患から、皮膚がん、自己免疫性疾患、重症薬疹、先天性疾患などの希少疾患までを対象とした総括的かつ専門性の高い研修を行っている。必要研修期間終了時には専門医の取得が可能である。

形成外科では小児の先天性疾患からマイクロサージャリーによる再建手術まで、広範囲かつ高度な専門的な技術を習得できる研修を行っている。いずれも必要研修期間終了時には専門医の取得が可能であり、その後さらに皮膚腫瘍外科専門医、レーザー専門医、頭蓋顎顔面外科専門医などの取得も可能である。

【泌尿器科】

副腎、尿路、男性生殖器の診断、治療に関する研修を行います。効率的に泌尿器科医としての研修を受け、10年間の研修を修了すれば、泌尿器科医として独り立ちできるように県下基幹病院と協力して独自の研修システムを整備しています。その中で当科では、腎や副腎、膀胱などの鏡視下手術、ロボットを用いた前立腺手術、各種開腹手術、尿路結石や膀胱癌に対しての内視鏡的手術、婦人科泌尿器科手術、慢性腎不全に導入から腎移植までの研修を行っています。また、尿路上皮癌や前立腺癌に対する抗癌化学療法や放射線治療なども、全国的にもリーダー的存在で、専門性の高い研修を行っています。

【眼科】

日本眼科学会の研修プログラム基幹研修施設として眼科指導医のもとで、眼科学の進歩に応じて、眼科医の知識と医療技術を高め、すぐれた眼科医を養成するための指導を行った。研修プログラムでは、外来患者および年間1000例以上の手術症例を中心に、眼科一般の診断と治療に必要な知識と基本的技術を取得させる内容となっている。また、高度な医療技術、特に難易度の高い手術のための知識やその実行には、頭頸部のより高度な解剖学的知識が要求されるため、御遺体を用いて以下の涙道手術手技研修を行っている。

【耳鼻咽喉科】

日本耳鼻咽喉科学会の研修施設認定を受けており、耳鼻咽喉科学ならびにその関連領域における医学の進歩に応じて、耳鼻咽喉科医の知識と医療技術を高め、すぐれた耳鼻咽喉科医の養成を図った。研修プログラムには、耳、鼻・副鼻腔、口腔咽喉頭、頭頸部の各領域における十分な専門性を有する指導医をおき、年間500例以上の手術症例を中心に研修を行った。人工内耳などの最先端耳鼻咽喉科医療の指導体制も充実している。

放射線科 【放射線診断分野】 【放射線治療分野】

1. 診断専門医は、画像診断（X線、CT、MRI、超音波等）、核医学、インターベンションラジオロジー（IVR）の専門的知識と診療技術を習得し、この知識と技術に基づいた検査の選択・指示・実施・管理等が出来るようにする。
2. 放射線治療専門医は、悪性腫瘍および一部の良性疾患に関して、放射線治療の効果、照射術式とその計画、有害事象、治療前中後の管理などについての専門知識と診療技術を駆使した適正な放射線治療が行えるようにする。

産婦人科 【周産期医学分野】 【婦人科腫瘍分野】 【女性医学分野】 【生殖医療分野】

日本産科婦人科学会専門医指導医のもと、上記4領域において患者を担当する医療者チームの一員として診断・治療に携わる。4領域に関する研修ガイドラインに基づいて臨床に必要な基本知識・産婦人科疾患に対する検査・診断・治療を以下の項目を目標に修得する。

1. 周産期医学分野：母体合併症妊娠における母児の問題点および管理法、超音波検査を用いた胎児の推定体重や血流測定を含めた胎児の元気度の評価や構造異常の評価に関して修得する。分娩管理については、分娩進行の評価につき研修し、分娩介助および帝王切開の適応・手技についても修得する。
2. 婦人科腫瘍分野：婦人科疾患における超音波検査・CT検査・MRIなどの画像診断を用いた診断学の修得を行う。内診による腫瘍の進展度の評価やコルポスコープによる子宮頸部病変の評価について研修する。開腹術・腹腔鏡下の婦人科手術手技を理解し、基本的手技および周術期管理の実際について修得する。
3. 女性医学分野：女性の内分泌疾患に対する診断・管理やホルモン補充療法、更年期障害に対するアプローチについて研修する。
4. 生殖医療分野：不妊症の検査・診断および生殖補助技術*以外の排卵誘発法やタイミング法などの基本的な治療について研修する。（*：生殖補助技術については、他施設において研修する。）

【麻酔科蘇生科】

臨床の現場において、手術における全身麻酔や区域麻酔、集中治療管理、痛みの治療の研修指導を行い、さらに下記の研修を通して、より高度な医療技術を身につけるよう指導した。

1. 高機能シミュレータを用いた全身麻酔手技の習得
2. 危機的状況を想定したシナリオトレーニング
3. 緩和ケア医療の研修

リハビリテーション部 【リハビリテーション科】

日本リハビリテーション医学会専門医の指導の下、以下の項目を目標とした教育プログラムを行った。

- 1) 診断学：リハビリテーションを行う上で必要な、各種画像検査・電気生理学的検査・病理診断・超音波検査などを、評価・施行できる。運動障害や高次脳機能障害だけでなく、嚥下障害、心肺機能障害、排泄障害の評価といった、関連領域も評価ができる。
- 2) 治療：全身状態の管理ができる。障害評価に基づく治療計画が立てられる。各種リハビリテーション（理学療法・作業療法など）に加え、義肢装具の処方・ブロック療法・薬物治療・生活指導などができる。

【救急科】

専攻医には、以下の3つの学習方法で専門研修を行います。

1 臨床現場での学習：経験豊富な指導医が中心となり救急科専門医や他領域の専門医とも協働して、専攻医に広く臨床現場での学習を提供します。

- 1) 救急診療や手術での実地修練(on-the-job training)
- 2) 診療科におけるカンファレンスおよび関連診療科との合同カンファレンス
- 3) 抄読会・勉強会への参加
- 4) 臨床現場でのシミュレーションシステムを利用した、知識・技能の習得

2 臨床現場を離れた学習：国内外の標準的治療および先進的・研究的治療を学習するために、救急医学に関連する学術集会、セミナー、講演会および JATEC、JPTEC、ICLSコースなどの off-the-job training course に積極的に参加します。救命処置法の習得のみならず、インストラクターコースへ参加できるように配慮し、その指導法を学びます。また、研修施設もしくは日本救急医学会等が開催する認定された法制・倫理・安全に関する講習にそれぞれ少なくとも1回は参加します。

3 自己学習 専門研修期間中の疾患や病態の経験値の不足を補うために、日本救急医学会等が準備する「救急診療指針」、e-Learning などを活用した学習を病院内や自宅で利用できる機会を提供します。 研修プログラムの実際と特徴 本研修プログラムは、各専攻医の希望を考慮し、個々の基本モジュールの内容を吟味した上で、基幹施設・連携施設のいずれの施設からの開始に対しても対応できるように設計された研修コースです。本研修プログラムによる救急科専門医取得後には、集中治療、外傷、熱傷などの救急科関連領域の医療技術向上および専門医取得を目指す臨床研修や、リサーチマインドの醸成および医学博士号取得を目指す研究活動を選択することが可能です。プログラム期間中に当大学病院等で研修を行いながら愛媛大学大学院医学系研究科への社会人大学院進学を認めています。また本研修プログラム管理委員会は、基幹研修施設である愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センターと協力し、大学卒業後 2 年以内の初期研修医の希望に応じて、将来、救急科を目指すための救急医療に重点を置いた初期研修プログラム作成にもかかわっています。

歯科口腔外科・矯正歯科【歯科口腔外科】

外来における初診患者の問診、初診診察、診断、治療の口腔外科疾患一連の流れ、および手術手技難易度分類の中等度までにおける外来外科処置の執刀および術後のfollowを行った。

また、病棟においては入院から退院までの口腔癌、顎変形症、炎症、外傷、嚢胞性疾患患者等の患者管理および中等度相当までの執刀を指導医の元、経験した。臨床外に関しては、口腔外科関連論文の抄読会を担当し、学術的理解にも励んだ。

病理診断科・病理部【病理科】

病理専門医は、病理学総論と諸臓器の疾患に関する病理学的知見に基づいて、医療の根幹である病理診断（病理解剖、手術・生検標本診断、細胞診）を行い、臨床医との相互討論を通じて医療の質を担保し、高度先進医療、地域医療の推進に寄与する。本院では、「患者に学び患者に還元する医療」の姿勢で、医療倫理、医療安全を実施し、社会的ニーズに応じた病理専門医を育成する。病理専門研修では、日本病理学会の「専門研修手帳」に記された基準を満たすよう、知識・技能・態度の指導を行う。病理解剖については、視聴覚教材とマンツーマン指導による手技の修得・肉眼所見と病理組織標本検鏡・診断書作成、全例CPCを行う。手術・生検標本の診断と細胞診断は、業務マニュアルによる切り出し手技や報告書作成の標準化と、指導医によるマンツーマン指導・全例検閲を行う。臨床科との症例検討会での発表討論を日常的に行い、愛媛県病理研究会、中四国支部会、日本病理学会総会での症例報告を指導する。基礎の病理学講座との連携のもとに、分子病理学的研究手法の研鑽を奨励する。病理診断学の修練のみならず、専門医取得後のキャリア形成に留意し、後進の指導にあたる人材育成を目指す。

睡眠医療センター 【睡眠医療】

睡眠障害の診断・治療について、専門的研修を実施する。日本睡眠学会認定医療機関であり、年間200例以上の終夜睡眠ポリグラフィ実施を基盤とした睡眠障害の生理学的診断法、ならびに睡眠覚醒メカニズムに即した治療手法について、学会認定医が研修を担当する。国際学会での発表、論文指導も行う。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	154人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
竹中 克斗	第一内科	教授	30年	
山之内 純	輸血・細胞治療部	准教授	26年	血液
薬師神 芳洋	腫瘍センター	教授	33年	腫瘍内科
池田 俊太郎	循環器内科	教授	29年	
山口 修	呼吸器内科	教授	26年	循環器・呼吸器・高血 圧内科学
日浅 陽一	第三内科	教授	31年	消化器・内分泌・代謝 内科学
大八木 保政	脳神経内科	教授	36年	神経内科・老年病
大澤 春彦	糖尿病内科・臨床 検査医学	教授	33年	
永井 将弘	臨床薬理神経内 科	特任教授	33年	
上野 修一	精神科	教授	36年	
江口 真理子	小児科	教授	30年	
檜垣 高史	地域小児・周産期	教授	33年	
田内 久道	感染制御部	准教授	31年	
渡部 祐司	消化管腫瘍外科	教授	38年	
高田 泰次	肝臓・胆のう・膵 臓・移植外科	教授	38年	消化器外科、肝胆膵・ 移植外科
泉谷 裕則	心臓血管・呼吸器 外科	教授	33年	心臓血管外科
佐野 由文	心臓血管・呼吸器 外科	准教授	36年	呼吸器外科
國枝 武治	脳神経外科	教授	28年	脳神経外科
三浦 裕正	整形外科	教授	38年	
佐山 浩二	皮膚科・形成外科	教授	37年	
雑賀 隆史	泌尿器科	教授	34年	
白石 敦	眼科	教授	35年	
羽藤 直人	耳鼻咽喉科	教授	32年	耳鼻咽喉科
城戸 輝仁	放射線科	教授	22年	放射線診断分野
倉田 聖	放射線科	准教授	25年	放射線治療分野
杉山 隆	産婦人科	教授	34年	周産期・女性医学分野
松原 圭一	産婦人科	教授	34年	周産期医学分野
藤岡 徹	産婦人科	准教授	30年	婦人科腫瘍分野
萬家 俊博	麻酔科蘇生科	教授	37年	
佐藤 格夫	救急科	教授	26年	
中城 公一	歯科口腔外科・矯 正歯科	准教授	28年	
北澤 理子	病理診断科・病理 部	特任教授	27年	

岡 靖哲	睡眠医療センター	准教授	28年	睡眠医療
------	----------	-----	-----	------

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容：「新規採用者研修（医師・看護師・メディカルスタッフ・事務職員）」
- ・研修の期間・実施回数：2020年4月20日（DVD回覧）
- ・研修の参加人数：医師：62名、看護師：77名、メディカルスタッフ：22名、事務職員：26名

- ・研修の主な内容：「新人看護職員研修（薬剤管理）」
- ・研修の期間・実施回数：2020年4月6日
- ・研修の参加人数：36名

- ・研修の主な内容：「新人看護職員研修（薬剤管理）」
- ・研修の期間・実施回数：2020年4月7日
- ・研修の参加人数：37名

- ・研修の主な内容：「PET研修セミナー」
- ・研修の期間・実施回数：2020年6月 1回
- ・研修の参加人数：1名

- ・研修の主な内容：「核酸増幅検査（PCR等）基礎学科研修」
- ・研修の期間・実施回数：2020年6月17日 1回
- ・研修の参加人数：1人

- ・研修の主な内容：「ISO15189の基礎知識」（検査部新人対象）

- ・研修の期間・実施回数：2020年7月3日 1回
- ・研修の参加人数：5人

- ・研修の主な内容：「IS015189 2020年10月からの運用手順（変更点）について」
- ・研修の期間・実施回数：2020年10月6日 1回
- ・研修の参加人数：40人

- ・研修の主な内容：「愛媛県臨床検査技師会 新型コロナウイルス関連講習会」
- ・研修の期間・実施回数：2020年11月29日 1回
- ・研修の参加人数：2人

- ・研修の主な内容：「臨床検査に対するタスクシフティング業務啓発事業」
- ・研修の期間・実施回数：2021年1月30日、1月31日、2月6日 3回
- ・研修の参加人数：4人

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容：「診療用放射線の安全利用のための研修」
- ・研修の期間・実施回数：2020年5月 1回
- ・研修の参加人数：1名

- ・研修の主な内容：「第9回JBMP放射線治療品質管理・医学物理講習会」
- ・研修の期間・実施回数：2020年11月 1回
- ・研修の参加人数：1名

- ・研修の主な内容：「放射線治療品質管理機構主催講習会」
- ・研修の期間・実施回数：2021年1月 1回
- ・研修の参加人数：3名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容：「HIV感染症出張講義」
- ・研修の期間・実施回数：2020年7月10日（南高井訪問看護ステーション）
- ・研修の参加人数：10名

- ・研修の主な内容：「HIV 感染者・エイズ患者の在宅医療・介護実地研修」
- ・研修の期間・実施回数：2020年12月14-16日、2021年1月25-27日、2021年2月15-17日
- ・研修の参加人数：6名（2名×3）

- ・研修の主な内容：「第14回中国四国ICMTを育てる会」
- ・研修の期間・実施回数：2021年3月20日～26日（オンデマンド配信） 1回
- ・研修の参加人数：2人（当検査部からの参加人数）

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 杉山 隆	
管理担当者氏名	医療情報部長 木村 映善 看護部長 久保 幸 薬剤部長 田中 守 放射線部長 城戸 輝仁 ME機器センター長 泉谷 裕則 総務課長 上甲 功治 医事課長 仙波 文彦 人事労務課長 久保 秀二 研究協力課長 猪野 周宜 医療サービス課長 松尾 一恵	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	手術部
		看護記録	病棟
		検査所見記録	医療情報部
		エックス線写真	放射線部
		紹介状	医療情報部
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報部
			カルテは医療情報部で一括管理(主に電子カルテ, 古いモノは一部紙カルテ) 1患者1カルテ 病院外への持ち出しは例外を除き原則禁止。禁止にも関わらず持ち出した場合は, 申請し, 審査を受けることとなっている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事労務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究協力課
		高度の医療の研修の実績	人事労務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課, 薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療サービス課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療サービス課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療サービス課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療サービス課

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療サービス課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療サービス課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療サービス課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療サービス課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	ME機器センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部 総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部 総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部 総務課
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報部 総務課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部 総務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療サービス課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療サービス課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部 総合診療サポートセンター
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医療サービス課 医事課 人事労務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課
管理者が有する権限に関する状況	総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	② 現状	
閲覧責任者氏名	運営部長 齋藤 英雄		
閲覧担当者氏名	総務課長 上甲 功治		
閲覧の求めに応じる場所	総務課		
閲覧の手続の概要			
閲覧請求者は、国立大学法人愛媛大学情報公開取扱規程に基づき「法人文書開示請求」を提出し、承認の決定後、「開示の実施方法の申出書」に基づき閲覧する。			

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者中心の医療の実践 2. チーム医療の実践 3. 医療安全に関する組織的取組 4. インシデントの報告と情報の共有 5. 機能する医療事故防止対策 6. 適切な医療事故への対応 7. 患者相談の実施、指針等の閲覧 8. 医療安全管理教育・研修、啓発 9. 医療安全管理マニュアルの作成・更新 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無（有・無） ・ 開催状況：年12回 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療に係る安全管理のための指針の策定及び変更に関する事 2. 医療事故防止対策の検討及び研究に関する事 3. インシデントの分析及び再発防止策の検討に関する事 4. 医療事故調査制度に対応する死亡原因判定に関する事 5. 医療事故防止のための啓発、教育及び研修に関する事 6. 医療事故に対する対応策の策定に関する事 7. 患者及び家族等の被害者への対応に関する事 8. 関係公的機関への報告に関する事 9. 報道に関する事 10. その他、医療安全管理及び医療事故対策に関する事 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年4回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> 第1回：当院の医療安全管理体制について、安全な医薬品の取り扱い（令和2年5月21日～DVD回覧） 第2回：裁判事例からみた診療情報（令和2年7月28日開催） 第3回：災害拠点病院における医療提供について（令和2年10月16日開催） 第4回：診療用放射線の安全利用のための研修（令和3年1月4日～e-learning） 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全ラウンド：年2回計画的に実施 2. インシデント報告後の現場ラウンド、ヒアリング（随時） 3. 改善事例発表会：年1回医療現場からの公募方式で実施 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ①院内感染対策に関する基本的な考え方 ②院内感染対策のための委員会その他院内の組織に関する基本的事項 ③院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針 ④感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ⑤院内感染発生時の対応に関する基本指針 ⑥患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本指針 ⑦その他院内感染対策の推進のための基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ①院内感染の調査，予防対策に関すること ②院内感染防止の実施，監視及び指導に関する活動 ③院内感染発生時の措置に関すること ④職員の院内感染の教育に関すること ⑤その他院内感染防止に関すること 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> 第1回 新型コロナウイルス感染症への対応 抗菌薬適正使用支援チームについて (令和2年8月24日～令和2年8月28日 開催) 第2回 新型コロナウイルス～今後の対応～ ASTのこれから (令和2年12月～DVD回覧) 第3回 COVID-19 ～今、当院で何が起きているか？～ (令和3年2月～DVD回覧) 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ICT会議において事例を検討し，問題点の分析を実施している。また，その結果を含めて院内感染対策委員会へ報告し，重要な事例については病院運営委員会及び病院連絡協議会に報告している。 研修会においては，参加者アンケートから研修会の要望を調査し，次年度の研修計画の参考としている。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年1回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容： 令和2年度第1回医療安全に関する講演会 「抗がん剤を取り扱う際の注意点」「麻薬の適正使用と事故防止」 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 手順書の作成 (有・無) 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <p>医薬品の安全使用のための業務に関する手順書として「医薬品安全管理手順書」を作成（平成19年7月1日策定）。令和2年度分と3年度分を併せて現在改訂中である。</p> <p>医薬品安全手順書に基づく業務の各部署実施状況の確認は、医療安全管理部と薬剤部が協働して行う年2回の医療安全ラウンドにおいて行い、業務改善が必要な事項について指導し、改善を図っている。医療安全ラウンドでの各部署における確認結果は、医療安全管理部会議、医療安全管理委員会、リスクマネージャー会議で報告を行い、院内での情報共有を行っている。さらに、薬剤部で毎月開催している医薬品安全管理カンファレンスにおいても医療安全報告を行い、薬剤師間での情報共有を図っている。</p> 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば)： <p>門脈血栓症に対する経口Xa阻害薬（エドキサバン）の使用 妊娠20週未満における妊婦へのニフェジピン錠の使用 HIV感染妊婦から出生した子に対する母子感染予防のためのジドブジン投与 など</p> その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ●調剤時以外での禁忌該当薬剤の確認体制 薬剤部薬品情報管理室において、処方薬剤に対して禁忌病名が登録されている入院患者情報を抽出している。抽出された情報に基づき病棟担当薬剤師が担当医に禁忌該当薬剤に対する疑義照会を行い、当該薬剤処方継続の可否の確認、必要に応じて処方提案を行っている。また、疑義照会の結果、既に終了している病名であった場合は病名整理を依頼し、適切に医薬品が使用できるよう努めている。また、これらの病名に関する禁忌の情報には毎月医事課にも報告しており、医事課からも病名整理を依頼している。 ●医療安全管理委員会への医薬品安全管理報告体制 医薬品安全管理体制を担っている部門（薬剤部）における医薬品の安全使用に係る業務を医療安全管理委員会へ報告している。内容は、院内副作用報告件数および医薬品安全性情報報告件数、院内院外疑義照会件数、プレアボイド報告件数、禁忌該当薬剤の確認数等である。医療安全管理委員会は医薬品安全管理体制の部門を監査し、必要に応じて意見することとしている。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年46回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ① 新規医療機器導入時 ② 使用方法、保守点検に関して ③ 有用性や安全性に関して ④ 不具合等発生時の対応に関して ⑤ 学会、研修会への出席 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> ① 定期点検と日常点検および不良対応点検 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば)： <p>適応外使用 1件 食道癌術後合併症で生じた難治性の吻合部気管瘻に対して閉鎖栓 (ASD閉鎖セット) を使用して瘻孔閉鎖を行った。</p> ・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>医療機器の使用等についてインシデントが発生した場合は、インシデント検討会議、リスクマネージャー会議にて事例を分析し、改善策等を立案している。また、立案した改善策については医療安全管理委員会にて報告し承認を得た後、リスクマネージャー会議やME機器センター発信のインフォメーションにおいて院内に周知している。</p> 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・ 責任者の資格(医師・歯科医師)</p> <p>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>愛媛大学医学部附属病院副病院長に関する規定 第3条3 病院長は、医療安全を担当する副病院長を医療法施行規則第9条の20の2第1項第1号に規定する医療安全管理責任者に指名し、医療安全管理部、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括させる。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(3名)・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>薬品情報管理室において医薬品に関する情報(イエローレター、ブルーレター、回収・出荷停止、適正使用のお願い、医薬品・医療機器等安全性情報、医薬品安全対策情報、PMDA 医療安全情報、日本医療機能評価機構医療安全情報、添付文書改訂、PMDA からの公知申請情報・適応外情報)を一元的に収集し、院内メーリングリストや院内イントラネット、電子カルテ掲示板を利用し周知している。また、DI ニュース、プレアボイドニュース、薬事委員会において決定した新規採用・削除薬一覧表(New Face)を作成し、メーリングリストおよび紙媒体等を用いて院内へ周知している。</p> <p>特に重要な情報(イエローレター、ブルーレター、その他薬品情報管理室が重要と判断した内容)については、上記の周知に加えてデータウェアハウスを用いて抽出した該当薬品使用中の全患者を対象とした適正使用のモニタリング、処方医に対する電子カルテでの個別メールによる情報提供も行っている。</p> <p>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>院内において未承認、適応外あるいは禁忌薬(以後、未承認新規医薬品等)を新たに使用する場合には、未承認新規医薬品等評価部に必要書類を提出する。書類とは①未承認新規医薬品等申請・報告書式、②患者向け説明文書、③患者同意書、④患者同意撤回書、⑤未承認新規医薬品等を使用する根拠となるエビデンス(文献等)、⑥医薬品を用いる場合は当該医薬品の添付文書であり、未承認新規医薬品等評価部は申請内容に関して未承認新規医薬品等評価委員会に意見を求めた上で使用の可否を決定する。なお、承認された未承認新規医薬品等に関しては実施報告書や適正使用モニタリング等の管理を行う。</p> <p>また、薬剤部において薬剤師が調剤時に当該薬品が未承認新規医薬品等に該当すると認識した場</p>	

合は、担当医へ疑義照会を行い、必要に応じて妥当性の確認や処方提案を行っている。結果に関しては診療録へ記録し、必要に応じて医薬品安全管理責任者へ報告している。これらの未承認新規医薬品等に係る疑義照会情報は薬品情報管理室で収集し、院内の医療安全管理委員会へ報告する体制をとっている。

・ 担当者の指名の有無 (有) 無

・ 担当者の所属・職種：

(所属：未承認新規医薬品等評価部， 職種 薬剤師 (副薬剤部長))

(所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 (薬品情報管理室室長))

(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)

(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)

(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

(有) 無

・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有) 無

・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：

容確認方法：各リスクマネージャーを通して確認

指導内容：説明内容，説明手順，説明方法，成立要件，説明同意書，診療録への記載，責任者の配置

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

(有) 無

・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

日々、診療録の量的な監査（入院診療計画書、退院時要約、手術記録、説明同意書、経過記録等の確認）を中央病歴室（診療情報管理士及び医療事務有資格事務員）にて実施し、記載内容に不備等がある場合は記載者へ連絡し修正を依頼している。

また、年2回、診療録の質的な監査（入院診療計画書、退院時要約、手術記録、IC、経過記録等の記載内容の確認）を医師、看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師、診療情報管理士等が実施し、その結果を診療記録管理委員会にて報告、検討を行っている。そこで議決された診療録記載上注意すべき点や指導すべき点等を記載医師所属診療科及び院内へ周知している。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有 無

・所属職員：専従（５）名、専任（３）名、兼任（１９）名

うち医師：専従（１）名、専任（２）名、兼任（８）名

うち薬剤師：専従（１）名、専任（０）名、兼任（１）名

うち看護師：専従（３）名、専任（０）名、兼任（６）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

1. 報告があったインシデントのモニタリング、分析及び影響レベルの判定に関すること
2. インシデント審議委員会及びインシデント調査委員会に関すること
3. インシデントごとの解決策及び再発防止策の企画・立案に関すること
4. 医療安全体制システム及びマニュアルの見直しに関すること
5. 医療安全管理委員会で決定した事項についての周知の確認及びそれに必要な指導に関すること
6. 安全管理に関する教育・研修等の実施に関すること
7. 医療安全管理委員会の資料及び議事録の作成・保存等の運営に関すること
8. 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び必要な指導に関すること。
9. 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認及び必要な指導に関すること
10. 事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認及び必要な指導に関すること
11. 他の委員会、患者相談窓口等他部門及びリスクマネージャー等との連絡調整に関すること
12. 医療事故防止等に係る情報提供に関すること
13. その他医療の質の向上及び安全管理に関すること

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（４件）、及び許可件数（４件）

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 無）

・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 無）

・活動の主な内容：

高難度新規医療技術を用いた医療の適正な提供を図るために、審査を行い、適否等の決定を行う。また、全ての症例について、提供された医療の安全性、適正性を定期的に評価する。有害事象発生時及び患者が死亡した場合は、当該診療科から報告を受け、適切な処置や対策を講ずる。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有 無）

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有 無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（35件）、及び許可件数（34件）

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有 無）

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有 無）

・活動の主な内容：

未承認新規医薬品等を用いた医療の適正な提供を図るために、審査を行い、適否等の決定を行う。また、全ての症例について、提供された医療の安全性、適正性を定期的に評価する。有害事象発生時及び患者が死亡した場合は、当該診療科から報告を受け、適切な処置や対策を講ずる。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有 無）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有 無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年132件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年127件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

患者影響レベル3b以上のインシデントの分析及び再発防止策の検討。死亡事例検討会の結果報告確認

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・他の特定機能病院等への立入り（<input checked="" type="radio"/>有）（病院名：香川大学医学部附属病院）・無） ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（<input checked="" type="radio"/>有）（病院名：高知大学医学部附属病院）・無） ・技術的助言の実施状況 <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面調査となり、高知大学医学部附属病院からの助言は特になかった。</p>
--

<p>⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体制の確保状況 <p>総合診療サポートセンターが患者からの相談窓口となっている。個室の面談室9室、オープンな相談ブースを4ヶ所設置し、対応している。中でも医療安全に係る相談については、総合診療サポートセンターのメディエーターが主に対応し、医療サービス課・医療安全管理部が連携できる体制をとっている。</p>
--

<p>⑫ 職員研修の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の実施状況 <ol style="list-style-type: none"> 1. 新規採用者へのオリエンテーション 2. 医療安全に関する講演会（4回） 3. 医療安全セミナー（3回）
--

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

<p>⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の実施状況 <p>管理者、医療安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が公益財団法人日本医療機能評価機構主催の2020年度特定機能病院管理者研修（継続・5時間）を受講。</p>

（注）前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

2016年10月に、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価のうち、主たる機能種別「一般病院2」及び副機能種別「精神科病院」を受審し、認定を受けた。

・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

上記受審による審査結果報告書より、改善要望事項の該当は無し、と報告を受けた。審査結果報告書の内容は、愛媛大学医学部内専用サイトで公表する等院内で共有したうえで、セクション毎に関係部署へ向けて周知している。

・ 評価を踏まえ講じた措置

審査結果報告書により、評価判定結果が「B」であったセクションに関して、関係部署にて改善策を検討し、改善状況および計画等を「改善状況報告書」として作成し、取りまとめて院内で共有した。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師免許を有している者 ・ 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者 ・ 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者 ・ 教育・研究・診療に必要な資質・能力を有している者 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 愛媛大学HPに掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 愛媛大学HPに掲載 	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
八尋 秀典	愛媛大学	○	学長が指名する理事	<input checked="" type="radio"/> 有 無
山下 政克	愛媛大学大学院医学系研究科		役職指定 (医学系研究科長)	<input checked="" type="radio"/> 有 無
羽藤 直人	愛媛大学大学院医学系研究科		役職指定 (医学専攻長)	<input checked="" type="radio"/> 有 無
日浅 陽一	愛媛大学大学院医学系研究科		学長が指名する副病院長	<input checked="" type="radio"/> 有 無
久保 幸	愛媛大学医学部附属病院		役職指定 (附属病院看護部長)	<input checked="" type="radio"/> 有 無
大熊 伸定	弁護士法人松山中央法律事務所		弁護士として、法律について豊富な知見を有している	有 <input checked="" type="radio"/> 無
管 規行	愛媛県保健福祉部		愛媛県の保健医療に係る責任者として、地域の医療政策に関する豊富な経験と高い知識を有している	有 <input checked="" type="radio"/> 無
横山 めい	株式会社エス・ピー・シー		国立大学法人愛媛大学経営協議会委員であり、メディア事業を通	有 <input checked="" type="radio"/> 無

			じて、地域活性化について豊富な 経験と高い識見を有している	
--	--	--	----------------------------------	--

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		(有)・無	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 合議体の主要な審議内容 運営方針、中期計画、予算及び決算その他病院の運営に関する重要事項 ・ 審議の概要の従業者への周知状況 愛媛大学医学部内職員専用サイトに資料・議事要旨を掲載 ・ 合議体に係る内部規程の公表の有無 ((有)・無) ・ 公表の方法 愛媛大学HPに掲載 ・ 外部有識者からの意見聴取の有無 ((有)・無) 			
合議体の委員名簿			
氏名		委員長 (○を付す)	職種 役職
杉山 隆	○	医師	病院長／周産母子センター長
雑賀 隆史		医師	副病院長(総務・経営担当)／泌尿器科長
竹中 克斗		医師	副病院長(診療・教育担当)／第一内科長
萬家 俊博		医師	副病院長(医療安全・危機管理担当)／麻酔科蘇生科長／手術部長／痛みセンター長
日浅 陽一		医師	副病院長(地域連携・地域医療再生担当)／総合診療サポートセンター長／第三内科長
久保 幸		看護師	副病院長(患者サービス担当)／看護部長
大澤 春彦		医師	副病院長(橋渡し研究推進担当)／糖尿病内科・臨床検査医学科長／検査部長
山口 修		医師	第二内科長
大八木 保政		医師	脳神経内科長
永井 将弘		医師	臨床薬理神経内科長／臨床研究支援センター長／臨床研究データセンター長／臨床研究COIマネジメント部長
川本 龍一		医師	総合診療科長

上野 修一		医師	精神科長
江口 真理子		医師	小児科長／臨床遺伝医療部長
渡部 祐司		医師	消化器腫瘍外科長／高難度新規医療技術評価部長／ 材料部長／低侵襲・がん治療センター長
高田 泰次		医師	肝臓・胆のう・膵臓・移植外科長／臓器・組織移植センター長
泉谷 裕則		医師	心臓血管・呼吸器外科長／ME 機器センター長
國枝 武治		医師	脳神経外科長
三浦 裕正		医師	整形外科長／リハビリテーション部長／人工関節センター長
佐山 浩二		医師	皮膚科長
中岡 啓喜		医師	形成外科長
白石 敦		医師	眼科長／細胞プロセッシングセンター長
羽藤 直人		医師	耳鼻咽喉科長
城戸 輝仁		医師	放射線科長／放射線部長
内田 大亮		歯科医師	歯科口腔外科・矯正歯科長
佐藤 格夫		医師	救急科長／救急部長
山之内 純		医師	輸血・細胞治療部長
高崎 康史		医師	集中治療部長
北澤 理子		医師	病理部長
木村 映善		医師	医療情報部長
池田 宜央		医師	光学医療診療部長
菊川 忠彦		医師	透析治療部長
鈴木 純		医師	医療安全管理部長
渡邊 英昭		医師	脳卒中センター長
西村 隆		医師	循環器病センター長
利光 久美子		管理栄養士	栄養部長
谷本 一史		医師	造血細胞移植センター長
伊賀瀬 道也		医師	抗加齢・予防医療センター長
田内 久道		医師	感染制御部長
薬師神 芳洋		医師	腫瘍センター長／緩和ケアセンター長

徳本 良雄		医師	肝疾患診療相談センター長
森野 忠夫		医師	脊椎センター長
宮川 正男		医師	PETセンター長
佐野 由文		医師	呼吸器センター長
打田 俊司		医師	小児総合医療センター長
原 祐子		医師	屈折矯正センター長
亀井 義明		医師	乳腺センター長
岡 靖哲		医師	睡眠医療センター長
森 崇明		医師	認知症疾患医療センター長
本田 弘文		診療放射線技師	放射線治療品質保証室長
堀内 史枝		医師	子どものこころセンター長
飛鷹 範明		薬剤師	未承認新規医薬品等評価部長
竹下 英次		医師	炎症性腸疾患センター長
檜垣 高史		医師	移行期・成人先天性心疾患センター
田中 守		薬剤師	薬剤部長／臨床研究クオリティマネジメント部
大元 謙二		診療放射線技師	診療支援部長
熊木 天児		医師	総合臨床研修センター長
今村 健志		医師	先端医療創生センター長
齋藤 英雄		事務職員	医学部運営部長
山下 政克		教員	医学系研究科長(医学部長)
松浦 文三		医師	地域生活習慣病・内分泌講座 教授

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法
愛媛大学HPに掲載
- ・ 規程の主な内容
人事権限・予算執行権限
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

【職名】副院長（総務・経営担当/診療・教育担当/医療安全・危機管理担当/地域連携・地域医療再生担当/患者サービス担当/橋渡し研究推進担当）
病院長補佐（災害担当）

【役割】病院長の職務を補佐し、病院長から指示された重要な事項を処理する。

【職名】（副院長のうち総務担当）

【役割】病院長が不在又は事故があるときは、その職務を代理する。

【職名】（副院長のうち医療安全担当）

【役割】医療安全管理責任者として医療安全管理部、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括する。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
厚労省委託事業の特定機能病院管理者研修、国立大学附属病院長会議等企画の病院経営次世代リーダー養成塾等、各種研修の受講を促している。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	(有)・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容： 次の事項について審議する。 (1) 病院の医療安全に係る業務執行状況の監査に関すること。 (2) 安全管理状況及び改善状況に関すること。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 公表の方法： 愛媛大学HPに掲載</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
管 政治	愛媛県立中央 病院	○	医療に係る安全 管理に関する 識見を有する者	有 (無)	1
大熊 伸定	弁護士法人松 山中央法律事 務所		法律に関する識 見を有する者	有 (無)	1
河野 和博	愛媛県難病等 患者団体連絡 協議会 愛媛県腎臓病 患者連絡協議 会		医療を受ける者	有 (無)	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容
監査室を設置し、監事及び会計監査人と連携して監査を実施している。
- ・専門部署の設置の有無（有・無）
- ・内部規程の整備の有無（有・無）
- ・内部規程の公表の有無（有・無）
- ・公表の方法
愛媛大学HPに掲載

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 国立大学法人法に基づき、役員会・経営協議会を設置し、病院の業務・管理運営及び経営に関する重要事項を審議・報告している。 ・ 会議体の実施状況（役員会 R2年度 24回、経営協議会 R2年度 5回） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="radio"/>有・無） （役員会 R2年度 19回、経営協議会 R2年度 5回） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無） ・ 公表の方法 愛媛大学HPに掲載 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 通報件数 (年〇件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 周知の方法 <p>愛媛大学教職員向けポータルサイト内に「相談窓口」のページを設け、様々な事案毎の相談窓口及び連絡先等を掲載している。その中に、医療安全管理の適正な実施に関する情報提供を受け付ける相談窓口の設置について掲載しており、加えて、本件について事務連絡メールを全教職員に送付し周知を図っている。</p>

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>本院の目的・目標，果たすべき役割及び実績等をまとめた冊子「医学部／附属病院概要」を毎年作成・発行するとともに，電子BOOKとしてオリジナルホームページにも掲載している。</p> <p>また，DPCデータによる病院指標も公表し，当院の特徴や急性期医療の現状を理解していただくよう情報発信に務めている。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>中央診療施設において、複数診療科等を組み合わせたセンターによる診察を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 周産母子センター（産婦人科、小児科）2. 小児医療総合センター（小児科、心臓血管・呼吸器外科）3. 呼吸器センター（第二内科、心臓血管・呼吸器外科）4. 脊椎センター（整形外科、脳神経外科）5. 睡眠センター（第二内科、耳鼻咽喉科）6. 循環器病センター（第二内科、心臓血管・呼吸器外科）7. 緩和ケアセンター（腫瘍センター、麻酔科蘇生科）8. 認知症疾患医療センター（精神科、臨床薬理神経内科、脳神経内科）9. 子どものこころセンター（精神科、小児科）10. 炎症性腸疾患（IBD）センター（第三内科、消化器腫瘍外科）	

1 1 . 移行期・成人先天性心疾患センター（小児科、第二内科、心臓血管呼吸器外科）

など

(様式第 8-3)

愛大医総第 279 号
令和 3 年 10 月 1 日

厚生労働大臣 田村 憲久 殿

国立大学法人愛媛大学
学長 仁科 弘毅

愛媛大学医学部附属病院の第三者による評価を受審する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1 受審予定である第三者評価

- | |
|---|
| <p>① 公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価のうち、一般病院 3 による評価</p> <p>2 Joint Commission International が実施する、J C I 認証による評価</p> <p>③ ISO 規格に基づく、ISO 9001 認証による評価</p> |
|---|

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○を付けること。

2 第三者評価を受けるための予定措置

- | |
|---|
| <p>1. 一般病院 3 による評価は 5 年に 1 度の受審している。前回は平成 28 年 10 月に受審し、今年度 9 月に更新のための受審を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により延期となり、現在は受審日未定の状況である。</p> <p>3. ISO 9001 認証による評価は 2010 年 3 月 18 日に初回認定、2018 年 3 月 15 日に第 2 回更新の認定を受けている。第 2 回更新の有効期限は 2022 年 3 月 31 日となっている。なお、適用基準は ISO 15189:2012 である。</p> |
|---|